

平成27年度

事業報告（案）

社会福祉法人相楽福社会

目次

平成27年度 事業報告(案)

相楽福祉会全体	1
総務部	5
健康管理部	9
相楽地域障害者生活支援センター	15
相楽作業所	19
相楽デイセンター	26
精華地域活動センター「心」	34
(クリエイティブスペース) ていすと	39
エコ・クリーン相楽	44
サービスセンター相楽	50
グループホーム サポートセンター「樹葉」	53

社会福祉法人相楽福祉会
平成 27 年度事業報告（案）

はじめに

創設者廣瀬明彦氏が逝って四年目を迎える今、混乱と途惑いの中で「後」を受け継いだ新執行体制の三年目（三年間と理解してください）の実践と総括を報告します。

無認可施設に始まった相楽の 35 年の歩みを顧みれば、Ⅰ期．輝かしく先駆的だった黎明・創生期、Ⅱ期．措置制度から基礎構造改革を経て契約制度に向かう制度改革激動期、Ⅲ期．その後総合支援法・差別解消法に至る現段階は成年後見制度・意思決定支援を基盤にして人権擁護・確立期に向かう、と位置づける事が出来ます。

新執行体制の第一歩は、時代を先駆けた輝かしいⅠ期の実績を評価する一方、Ⅱ期の制度変革の激動期、整備されていく法・制度に適応できぬまま労基法軽視・旧来手法で走り続け、やがてⅢ期体力・財政力を消耗させ支援の質的低下をきたし事業存続吃水線の限界点で船長・指導者を失った（相楽は全てを失った）こと、以上への冷徹で厳正な検証作業でした。

創設者手法を限界まで支え続けてくれた職員群像は、困惑せる喪失感の中で新しい時代に即した手法を受け入れる事に戸惑いから始めなければならなかった事は言うまでもありませんが、法令遵守・組織統制・経営や事業概念・組織運営・人事マネジメント等の耳慣れない概念を体感しつつ、新しい目標（個々人支援サービスの究極的質&量最適化）に向かって誠実真摯に実践して来た結果、再生相楽の今後を導く 28 年度事業計画の基礎となった 27 年度事業報告（3 年間の結果）として纏め上げる事が出来ました。十分な実績成果は出せたとは言えないけれど、課題を整理検証した上で明確な方向性を打ち出す事が出来たと思います。

理事長 三輪信行

I 運営指針に基づき評価

- 1 人権に配慮し個々に合わせた適切な支援を行うために、研修の充実及び相互評価を意識的に行う。
 - ・人権について、障害特性の理解、医療関連等の研修を年間通じて計画的に実施し、個々の職員にレポート提出を行った。また、各事業所においてチェックシートの活用や各会議において、人権に配慮した支援が行われているか意識的に議論した。
- 2 「働く場」としての生産活動を見直し、他事業所に学ぶとともにグループ編成にも配慮していく。
 - ・近隣の他事業所の見学や企業への見学訪問を行い、利用者の能力に適した作業内容への変更や新たな下請け作業を取り入れた。
 - ・組織的な運営を可能にし、新規の利用者拡大を進めることを目的として小規模合築の構想をすすめた。次年度具体化していきたい。
- 3 高齢化が進みこれまで以上に安心・安全を最優先に考え、設備面の改善及び介護保険事業の利用を含めた支援内容を見直す。
 - ・高齢の利用者に対して、介護保険事業所と並行した通所も取り入れ、リハビリ等必要な支援を取り入れた。また、グループホームにおいて訪問看護による入浴を行い、より安全に配慮した支援をすすめた。
 - ・作業所において高齢対応のグループ編成を2016年より実施するために、高齢者施策の学習会を行うなどの準備を行った。今後具体的な支援内容について、研修と検討が必要。
- 4 各職員の役割を明確にするとともに、計画及び報告に対してタイムリーな評価を加え、組織的運営を行う。
 - ・通所施設において、年間の職員個々の役割を明確にし、取り組みごとに計画と報告を徹底した。管理職の事務分掌については不明瞭な部分があり、次年度以降明確にしていく必要がある。
- 5 事務の効率化を図るとともに、業務内容を見直すことにより財政の安定化を図る。
 - ・事務の効率化をすすめ、事務職員の1名削減を行った。
 - ・管理職会議で財政状況の動向の確認を行い、管理職員の財政に関する認識を深める機会をつくった。

II 事業計画に基づき評価

- 1 組織的運営（ガバナンスの確立）

・理事長及び副理事長を含めた運営会議を月1回行い、事業全体の方向を明確にした。また、管理職会議では運営会議での方向性を受けて、日々の施設運営や支援の方向を具体化した。職員に対しては職員会議等で周知を図り、日々の報告・連絡・相談を重視し組織的な運営をすすめた。組織的な運営の流れはできてきたが、今後も継続し全職員に浸透させていく必要がある。

2 会議の充実

・組織的運営のため「運営会議」「管理職会議」「職員会議」を定例で行い、各事業所の利用者状況や支援内容を会議で確認し、人権への配慮及び安全について論議を意識的に行った。

・日常的にメール等を活用して、利用者の動静や他機関の情報を共有した。

3 通所施設の活動内容の見直し

・他事業所や企業の見学をすすめ、下請けの仕事が中心ではあるがより利用者に適した新たな作業内容を提供した。また、次年度に向けて小規模の事業所を合築させ、より働く場の機能を持たせた事業所への再編を具体化する論議を始めた。

・作業所において加齢の方中心の班編成の具体的論議を行い、次年度具体化していく。

・漫然と行われていたプログラムの見直しを行うとともに、計画と報告を徹底することによって日中活動の整理を行った。

4 財政の安定化

・四半期ごとに管理職会議で財政状況を確認し、財政への認識を深める機会を持った。職員全体に周知していくことに関しては、施設によって差が生じてしまい今後の課題である。

・次年度に向けた利用者の受け入れのための見学・実習の受け入れを行い、次年度に支援学校卒業生1名の受け入れをすすめた。

・事務職員の効率化を進め、事務職員の削減を行った。そのことにより、事務担当職員の負担は大きくなった部分もあり、今後さらに効率化が求められる。

5 グループホーム改革

・介護保険事業や訪問看護など他資源を取り入れ、より安全で個々にあった支援内容をすすめた。一方、夜間支援を担えるマンパワーの確保が十分にできず、職員の負担軽減が進まなかった。

6 職員育成

1) 研修の実施（内部研修の実施、外部研修への積極的参画）

＜新任研修＞

・法人の歴史、支援の基本、障害者施策他 3日間

＜法人研修＞

- ・「他施設の運営と取り組み学ぶ」 上野ひまわり作業所 奥西利江氏
4月29日（土） かしのみ苑
 - ・「身体障害者の支援について」 湖北タウンホーム 西山和秀氏
7月24日（金） 相楽デイセンター
 - ・「自閉症の支援について」 知的障害者支援事業所「七」 櫻井基生 氏
12月11日（金） 作業所
- <法人内人権研修>
- ・「子どもの人権」 大和の家 早樫一男氏
10月24日（土） かしのみ苑 ホール
- <管理職研修>
- ・「福祉会の風土づくり」 滋賀県障害児協会 乗光秀明 氏
8月～12月（5回） 作業所

2) 外部研修への参加

京都府社会福祉協議会等各団体が実施する研修に積極的に参加した。
(詳細は各事業所報告に記載)

- ## 3) 資格試験取得に向けて業務的配慮を行い、今年度新たにグループホーム担当職員3名が介護福祉士を取得し、職員（パートを除く）の57%が国家資格、91%が居宅支援に必須である介護福祉士及び介護職員初任者研修（ホームヘルパー）の資格を持つことになった。

社会福祉法人相楽福祉会
平成27年度 総務部事業報告(案)

昨年度に引き続き、継続した運営基盤の構築するための財政安定化を掲げ、以下の事業を実施した。

<計画に即した評価>

1 継続的運営のための財政安定化

- ・各施設の運営と財政状況について所属長とコンタクトを取りながら予算執行状況を常にチェックし、計画的に財務の運営ができるよう努めていく。
- ・施設の老朽化の伴う改修を計画的に進めていくとともに、できうる限りの資産留保に努め、修繕や人件費積立金の積み立てができるよう努力する。

事業計画に基づく予算の執行を常に意識し、予算外の支出についてはそのほかの予算執行状況や削減に努め各施設長とともに計画的に進めていくことができた。その結果、当期繰越活動増減差額は28,806千円の黒字計上（昨年度は24,634千円の黒字）となり、一定の成果があった。

相楽作業所、相楽デイセンターについては施設改修を予算通り計画的に進めていくことができた。今後も計画的な改修が進めていけるよう、計画を立て進める。

2 財政状況の認識強化

- ・四半期ごとに管理職会議において財政状況を報告確認し、財政状況の認識を強化していく。
- ・職員全体にも現状の周知を行い、法人全体で財政に対する意識づけを行う。

3か月ごとの四半期決算を作成し、運営会議、管理職会議にて報告を行った。しかし、職員全体に周知する点については、記載している内容をうまく伝える手段を持ち合わせておらず、実施には至らなかった。

財務諸表への理解を進めていくための手段を平成28年度は構築し、積極的に伝えていけるようにしたい。

3 新会計基準への移行

- ・社会福祉法人会計基準の運用を開始。

日々の運用については科目の変更等で当初戸惑う面があったが、平成15年度の会計基準変更時と比較しそれほど大きく変更点がなかったため、円滑に移行を行うことができた。

4 障害者総合福祉法の動向等への対応

- ・障害支援区分の見直し
- ・今後の制度の動向への迅速な対応

平成27年4月から随時、利用者の障害支援区分の変更があり、受給者証の確認作業、請求業務への対応等を行った。

一部市町村の受給者証発行業務が遅れていたため、数名の請求が滞る自体が生じたが、後日請求することで回避できた。

5 事務の効率化

- ・オンライン手続きや各種ソフトを導入し、事務業務の省力化を積極的に進める

平成26年度から進めてきたオンラインによる事務手続きは、平成27年度も引き続き利用することで効率的に事務作業を進めることができた。

請求事務についてはWindows10への対応も含め、平成28年6月をめどにクラウドによる請求システムを導入し、すべての請求事務を一括管理することで効率的に運用を進める予定である。

6 理事会・評議員会の開催

平成27年度は理事会4回、評議員会3回を開催。事業報告、決算報告、事業計画、予算等各種審議を実施した。

7 平成27年度決算書の作成

平成27年度決算書から社会福祉法人会計基準に基づく決算書資料を作成。各種財務諸表、添付資料を作成した。

<別添3>

平成27年度 理事会・評議員会の開催状況

理事会

	開催日時	場所	議案内容	出席理事	出席監事
第1回	平成27年4月1日	相楽デイセンター	第1号議案 理事長の選任について 第2号議案 副理事長の選任について 第3号議案 常務理事及び理事長職務代行者の指名について	9名	1名
第2回	平成27年5月21日	相楽デイセンター	第1号議案 辞任に伴う評議員の選任同意について 第2号議案 平成26年度事業報告(案)について 第3号議案 平成26年度決算報告(案)について 第4号議案 監事監査報告について 第5号議案 定款変更について	10名	1名
第3回	平成27年10月8日	書面による議決	第1号議案 非常勤職員就業規則の改正について 第2号議案 「育児・介護休業等に関する規則の規定」の制定について	10名	-
第4回	平成27年3月22日	相楽デイセンター	第1号議案 辞任に伴う評議員の選任について 第2号議案 平成27年度補正予算(案)について 第3号議案 平成28年度事業計画(案)について 第4号議案 平成28年度予算(案)について 第5号議案 定款変更について(副理事長定数変更) 第6号議案 福祉医療機構退職手当共済加入者範囲の変更及び 京都社会福祉事業企業年金基金第2制度の加入について 第7号議案 給与規程の変更について 第8号議案 主要人事について	9名	1名

評議員会

	開催日時	場所	議案内容	出席評議員	出席監事
第1回	平成27年5月21日	相楽デイセンター	第1号議案 平成26年度事業報告(案)について 第2号議案 平成26年度決算報告(案)について 第3号議案 監事監査報告について 第4号議案 定款変更について	19名	1名
第2回	平成27年10月8日	書面による議決	第1号議案 非常勤職員就業規則の改正について 第2号議案 「育児・介護休業等に関する規則の規定」の制定について	19名	-

第3回	平成27年3月22日	相楽デイセンター	第1号議案 辞任に伴う理事の選任について 第2号議案 平成27年度補正予算(案)について 第3号議案 平成28年度事業計画(案)について 第4号議案 平成28年度予算(案)について 第5号議案 定款変更について(副理事長定数変更) 第6号議案 福祉医療機構退職手当共済加入者範囲の変更及び 京都社会福祉事業企業年金基金第2制度の加入につ いて 第7号議案 給与規程の変更について 第8号議案 主要人事について	16名	1名
-----	------------	----------	---	-----	----

<別添2>

平成27年度介護給付費等請求額一覧(代理受領のみ、利用者負担は除く)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計													
相楽作業所 [生活介護]	精華町	4,478,417	4,126,661	4,786,310	4,742,598	4,148,758	4,368,820	4,517,752	4,035,061	4,094,969	4,116,683	4,258,224	4,786,667	52,460,920												
	木津川市	3,807,231	3,302,313	3,729,548	3,655,477	3,267,264	3,676,368	4,127,961	3,680,595	3,538,681	3,399,400	3,597,770	3,705,552	43,488,160												
	奈良市	199,497	107,908	232,032	199,935	176,490	152,567	170,280	144,688	101,382	152,995	161,424	180,430	1,979,628												
	京田辺市	248,880	213,637	152,221	326,879	282,881	226,566	284,846	282,993	284,164	284,164	298,691	329,037	3,214,959												
	合計	8,734,025	7,750,519	8,900,111	8,924,889	7,875,393	8,424,321	9,100,839	8,143,337	8,019,196	7,953,242	8,316,109	9,001,686	101,143,667												
相楽デイセンター [生活介護]	精華町	5,054,632	4,704,533	5,489,459	5,490,815	4,425,897	4,525,437	5,244,347	4,929,829	4,858,689	4,755,982	4,900,456	5,545,381	59,925,457												
	木津川市	4,621,272	4,006,977	4,433,765	4,571,529	3,715,710	4,064,427	4,637,305	4,120,425	3,976,308	4,060,648	4,193,770	4,611,518	51,013,654												
	宇治市	173,467	156,344	180,715	173,151	156,028	157,016	179,768	164,681	156,344	148,780	164,569	180,715	1,991,578												
	合計	9,849,371	8,867,854	10,103,939	10,235,495	8,297,635	8,746,880	10,061,420	9,214,935	8,991,341	8,965,410	9,258,795	10,337,614	112,930,689												
「心」	精華町	1,348,326	1,464,897	1,452,234	1,689,325	1,379,681	1,592,484	1,652,382	1,411,434	1,325,818	1,327,000	1,303,351	1,610,382	17,557,314												
	合計	1,348,326	1,464,897	1,452,234	1,689,325	1,379,681	1,592,484	1,652,382	1,411,434	1,325,818	1,327,000	1,303,351	1,610,382	17,557,314												
ていすと	木津川市	1,674,647	1,484,045	1,684,929	1,754,996	1,514,251	1,604,793	1,676,753	1,571,351	1,592,199	1,598,307	1,658,939	1,815,607	19,630,817												
	合計	1,674,647	1,484,045	1,684,929	1,754,996	1,514,251	1,604,793	1,676,753	1,571,351	1,592,199	1,598,307	1,658,939	1,815,607	19,630,817												
エコ・クリーン相楽 [生活介護]	精華町	810,998	736,123	850,588	873,960	740,226	744,614	839,796	752,981	755,078	729,017	806,387	870,611	9,510,379												
	木津川市	481,493	395,868	428,974	328,181	434,969	463,453	453,263	367,212	374,959	400,113	384,324	459,982	4,972,791												
	合計	1,292,491	1,131,991	1,279,562	1,202,141	1,175,195	1,208,067	1,293,059	1,120,193	1,130,037	1,129,130	1,190,711	1,330,593	14,483,170												
[就労継続支援]	精華町	227,014	202,453	233,827	235,139	204,162	195,152	233,553	205,789	206,776	189,466	211,779	204,039	2,549,149												
	木津川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
	合計	227,014	202,453	233,827	235,139	204,162	195,152	233,553	205,789	206,776	189,466	211,779	204,039	2,549,149												
エコ・クリーン相楽合計	1,519,505	1,334,444	1,513,389	1,437,280	1,379,357	1,403,219	1,526,612	1,325,982	1,336,813	1,318,596	1,402,490	1,534,632	17,032,319													
日中支援系合計														23,125,874	20,901,759	23,854,802	24,041,985	20,446,317	21,771,897	24,018,006	21,667,039	21,265,367	21,162,555	21,939,684	24,299,921	268,284,806
居宅介護	精華町	504,296	480,363	483,732	504,284	458,097	449,285	495,093	469,114	459,166	519,881	497,212	405,286	5,725,809												
	木津川市	358,021	285,865	395,992	466,324	360,563	344,308	392,968	396,449	402,213	375,061	330,751	400,126	4,508,641												
	奈良市	33,054	33,970	3,359	28,605	5,303	25,103	11,065	11,065	30,937	0	11,065	16,664	210,190												
	宇治市	3,960	2,585	3,603	1,384	6,545	2,585	3,960	2,585	2,585	1,384	3,960	1,384	36,520												
	京田辺市	22,609	20,807	20,736	28,218	20,655	12,002	23,067	15,351	21,103	13,956	25,256	18,710	242,470												
	合計	921,940	823,590	907,422	1,028,815	851,163	833,283	926,153	894,564	916,004	910,282	868,244	842,170	10,723,630												
行動援護	精華町	152,636	208,798	177,943	139,392	137,438	214,858	191,381	193,966	198,568	209,796	166,378	176,235	2,167,389												
	木津川市	102,479	251,006	144,482	183,786	253,214	171,163	194,374	124,590	215,845	189,538	158,306	139,819	2,128,602												
	合計	255,115	459,804	322,425	323,178	390,652	386,021	385,755	318,556	414,413	399,334	324,684	316,054	4,295,991												
移動支援 (地域生活支援事業)	精華町	89,479	71,302	73,372	88,395	84,826	50,962	75,906	81,589	63,329	72,542	62,665	99,732	914,099												
	木津川市	73,372	121,678	81,174	105,576	104,248	111,220	105,410	142,428	129,510	110,556	88,478	128,826	1,302,476												
	奈良市	8,100	11,400	0	0	12,100	0	0	7,200	0	0	7,200	0	46,000												
	宇治市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
	合計	170,951	204,380	154,546	193,971	201,174	162,182	181,316	231,217	192,839	183,098	158,343	228,558	2,262,575												
ホームヘルプ系合計														1,348,006	1,487,774	1,384,393	1,545,964	1,442,989	1,381,486	1,493,224	1,444,337	1,523,256	1,492,714	1,351,271	1,386,782	17,282,196
短期入所	精華町	305,435	402,053	409,626	415,317	460,392	349,309	366,695	414,175	417,433	495,859	400,525	466,449	4,903,268												
	木津川市	212,767	234,431	312,776	231,835	173,575	182,165	350,378	227,060	266,181	224,647	248,468	227,568	2,891,851												
	宇治市	0	0	0	0	16,695	0	0	0	0	0	0	0	16,695												
	京田辺市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
	合計	518,202	636,484	722,402	647,152	650,662	531,474	717,073	641,235	683,614	720,506	648,993	694,017	7,811,814												
一時支援 (地域生活支援事業)	精華町	161,750	198,750	192,700	195,650	179,800	162,100	158,800	178,750	180,750	179,700	171,050	185,700	2,145,500												
	木津川市	261,700	264,700	274,700	269,500	252,000	229,200	248,400	236,100	219,300	196,600	206,300	213,200	2,871,700												
	宇治市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
	合計	423,450	463,450	467,400	465,150	431,800	391,300	407,200	414,850	400,050	376,300	377,350	398,900	5,017,200												
ショートステイ系合計														941,652	1,099,934	1,189,802	1,112,302	1,082,462	922,774	1,124,273	1,056,085	1,083,664	1,096,806	1,026,343	1,092,917	12,829,014
グループホーム	精華町	2,816,754	2,866,785	2,865,220	2,958,782	3,022,260	2,878,745	2,942,757	2,897,855	2,993,250	3,006,112	2,728,843	3,098,169	35,075,532												
	木津川市	3,337,343	3,418,925	3,365,299	3,445,795	3,380,628	3,395,609	3,613,617	3,608,672	3,640,989	3,632,141	3,377,649	3,627,174	41,843,841												
	奈良市	266,240	271,360	268,636	279,480	281,405	238,868	242,565	238,868	264,878	247,398	189,245	247,398	3,036,341												
グループホーム系合計														6,420,337	6,557,070	6,499,155	6,684,057	6,684,293	6,513,222	6,798,939	6,745,395	6,899,117	6,885,651	6,295,737	6,972,741	79,955,714
計画相談支援	精華町	754,532	370,143	294,276	484,937	310,677	510,700	380,414	468,538	297,341	362,938	327,074	275,719	4,837,289												
	木津川市	83,074	222,552	152,813	114,793	40,005	215,345	369,065	287,069	303,468	16,399	13,335	69,739	1,887,657												
	奈良市	0	0	0	0	13,335	16,399	0	0	0	0	0	0	29,734												
計画相談支援 (児童)	精華町	32,220		26,200	74,530	29,210	65,500	26,200	13,100	0	42,310	0	16,110	325,380												
	合計	869,826	592,695	473,289	674,260	393,227	807,944	775,679	768,707	600,809	421,647	340,409	361,568	7,080,060												
全事業合計														32,705,695	30,639,232	33,201,241	34,058,568	30,049,288	31,397,123	34,210,121	31,681,563	31,372,213	31,059,373	30,953,444	34,113,929	378,361,730

社会福祉法人相楽福祉会

平成27年度 健康管理部事業報告（案）

<計画に即した評価>

1. 給食関係

(1) 通所事業所の給食を円滑に運営して行けるように努める。

- ・給食提供日数／年間 486 日（2 箇所…相楽作業所 243 日・相楽デイセンター243 日）
（提供食数 相楽作業所 15,156 食・相楽デイセンター 14,800 食）・・・別紙資料①参照
- ・給食 1 食を 540 円で提供した。（職員・一般）（利用者は食材費 310 円負担）
- ・給食委託先に食中毒三原則（手洗い・加熱・保冷）を厳守するよう要望した。
- ・安全な食材を使用するため、産地の確認と国産野菜を出来るだけ使用するようにした。

(2) 利用者・職員の意見を聞きながら栄養バランスのとれた献立になるよう努める。
また、個人対応も含めて適量配膳を目標として、残債の少ない給食にする。

- ・美味しい給食となるよう、嗜好調査を参考にした。また、利用者の直接の意見を聞き、献立作成をした。日々、検食日誌を委託先にも閲覧してもらいながら、給食会議で利用者・職員の意見を検討した。
- ・一人一人の栄養摂取目標量が違うので、健康も考慮した配膳になるように努めた。

(3) 衛生面では、食中毒や感染症を起こさないように充分注意する。

- ・施設外の事業所（ていすと）にも給食を提供したが、温度管理に注意して運搬するよう保温・保冷容器等を使用した。（ていすと・デイセンター厨房の2カ所で配送記録を付けた。）
- ・衛生面では、食中毒や感染症を拡大させないように次の点に留意した。
 - アルコール手指消毒機や薬剤のスプレーによる消毒を実施した。
 - 調理実習・お菓子作りについて、マニュアルに従って実施し、ノロウイルス胃腸炎他食中毒を防止した。
 - 手洗い場など施設内全般の消毒を実施、手洗いの啓発を実施
 - 利用者の体調不良時には早期に気づき対処した。

2. 医療・保健関係

(1) 利用者・職員の健康診断の実施

- ① 利用者の健診は、協力医療機関である精華町国保病院で9月に実施。もしくは、精華町在住で40歳以上利用者27名の方々には、特定健康診査・がん検診を推奨し受診して頂いた。木津川市のグループホームの方は、がん検診のみ実施。(特定健診は、個別にグループホームで対応) そのため、内容も充実し、費用面でも安価で実施できた。【表1】
- ② 歯科健診と歯科指導(フォロー健診)については、京都府の事業の都合により、年度途中で中止の連絡があった。その為、歯科衛生士の資格を持つ相楽福祉会職員による「歯磨き指導」を実施した。・・・【表2】
- ③ 利用者の健康管理を目的とした体重(血圧)測定を【表3】の通り実施した。年間一覧表を家庭に見てもらい適正体重の把握を啓発。利用者自身にも声かけを実施し、少数の利用者には改善が見られた。
- ④ 職員は年1回の健康診断を必須としている。精華町国保病院か協会けんぽの指定病院のどちらかで受診した。なお、女性の乳がん・子宮がん検診を協会けんぽの指定する年度に(2年に1回)実施とした。【表4】
 - ・職員の深夜従事者検診を実施した。(年2回・延べ8名)

(2) 感染症の予防に努め、発生時は早期に対処し、感染拡大を防ぐよう努める。

- ・感染症予防対策としてB肝ワクチンやインフルエンザワクチン接種を希望する職員に実施した。なお、インフルエンザワクチン接種については、精華町国保病院の医師が施設に来所し、利用者と職員が同時に接種する事ができた。・・・【表5】【表6】
 - ・年間を通してノロウイルス・インフルエンザ両方の対策として、アルコールと消毒薬(ジエспа)を併用した。また、冬期はノロウイルス(感染性胃腸炎)の流行を防止するため、12月から翌3月末まで塩素系薬剤を追加使用し、消毒を実施した。
 - ・利用者の日々の体調管理の実施(不調に早めに気づき、支援するようにした。)
 - ・研修の実施 『感染症予防・手洗い実技含む』の研修を計画し、利用者と職員に呼びかけ実施した。
- 他に、職員向け『誤嚥・窒息時の対応』の研修も実施した。【表7】

<資料>

【表1：利用者健康診断】※ガン検診も含む

実施日	対象者	場所	人数	内容
平成27年 5月26・27・ 28日 6月1・4・5日	特定健診(①)・ ガン検診に該当 する利用者(精 華町の40歳以 上の希望する利 用者)	精華町役場 (精華町)	精華町 27人	基本健診(問診・身体 計測・検尿・血圧測定・ 血液検査・心電図・診 察・肺がん・大腸がん・ 前立腺がん検診)
平成27年8月 20日	精華町の利用者 (40歳以上の 偶数年生まれの 女性)	学研都市病院	精華町 3人	乳がん検診(触診・マ ンモグラフィー)
平成28年2月 1日	同上	精華町役場	精華町 2人	骨密度測定
平成27年 5月14日	木津川市の利用 者(40歳以上)	木津川市保健 センター	木津川市 5人	大腸がん検診 (グループホーム支援)
平成27年 8月20日	木津川市の利用 者(40歳以上 の女性で2年に 1回)	学研都市病院	木津川市 3人	乳がん検診(触診・マ ンモグラフィー) (グループホーム支援)
平成27年 9月 3・4・10・ 11日	①以外の利用 者 (ガン検診済み の人は胸部X線 検査以外を受け た)	精華町 国保病院	78人 (別に欠席者 及び通院中 の利用者 7名)	血圧測定、身体測定、 血液検査、尿検査、胸 部X線検査、心電図検 査(35歳以上)、内科 診察
平成27年 9月3・4日	乳がん健診 女性全員対象で 希望者	精華町 国保病院	30名	

【表2：歯磨き指導；相楽福祉会職員の実施】※相楽作業所とデイセンターで実施

日程	内容	実施人数	実施主体
平成27年12月 1・4日作業所 12月7・10日 デイセンター	相楽作業所 相楽デイセンター 歯磨き指導 (歯科衛生士)	【作・32人】 【デイ・39人】	サービスセンター 職員 (歯科衛生士資格有)

【表 3：体重測定（血圧測定等）の実施状況】

項目	対象者	実施回数	人数
体重測定	全利用者	年間 7 回	全員
体重・血圧測定	生活習慣病のフォロー の必要な利用者	毎週 1 回 (年間 40 回)	11 人 (作業所) (男性 9 人、女性 2 人)

【表 4：職員健診実施状況】※週 30 時間以上勤務の職員対象

実施日	対象者	場所	人数	内容
平成 27 年 9 月 3・4・ 10・11 日	協会けんぽ に該当しな い職員	精 華 町 国保病院	22 人	血圧測定、血液検査、尿検査、胸部 X 線検査、心電図検査(35 歳以上)、内科診察 ※①
年間を通して 予約	協会けんぽ 健診で該当 する職員	指定病院 から選択	53 人 (内子宮 がん健診 13 人)	基本健診 (問診・身体計測・検尿・血圧測定・血液検査・心電図・レントゲン・便潜血検査、胃がん健診・診察等) 乳がん検診 (触診・マンモグラフィ) 40 歳以上の女性全員で希望者 (2 年に 1 回) 子宮がん健診…20 歳以上の女性で希望者 (2 年に 1 回)
5 月・9 月・ 翌 1 月・3 月	夜勤従事者	精 華 町 国保病院	8 名	上記の※①と同じ (ただし、心電図検査は全員) で、年 2 回実施
職員採用時	随時	精 華 町 国保病院	5 人	※①と同じ内容+視力・聴力・心電図検査は年齢関係なしで実施

【表 5：B 肝ワクチン接種の実施状況】

実施日	対象者	場所	人数	内容
平成 27 年 4 月～ 翌 1 月に実施	希 望 す る 職員	精華町 国保病院	右 の 1 の み 51 人 2 から 5 ま で 通して 15 人 (年間) 抗体検査	1. B 肝抗体検査 4 月 2. ワクチン接種 1 回目、5 月 3. ワクチン接種 2 回目、6 月 4. ワクチン接種 3 回目、平成 27 年 12 月 5. 抗体検査、平成 28 年 1 月

			平成28年1月 15人	6. 来年度の希望調査実施3/1～ 7. 昨年度ワクチン実施で抗体がつか なかつた人に追加接種6月 8. 7月に抗体検査実施1名
--	--	--	----------------	---

【表6：インフルエンザワクチンの接種】

実施日	対象者	場所	人数	内容
平成27年 10月29日 11月5日	希望する職員 希望する利用者	相楽作業所 相楽デイセンター	利用者 61人 職員 46人	精華町国保病院の医師が施設に 出張してのインフルエンザワク チン接種（1回接種）

【表7：職員研修】医療的ケアで、必要な技術・知識をより深く学ぶために実施

① 感染症について（9回）

実施日	対象者	場所	内容
平成27年 11月10日・16日	職員	相楽作業所	感染症について
平成27年12月25日	こころ利用者・職員	相楽作業所	手洗い方法の実習
平成28年1月7日	ていすと職員	ていすと	感染症について
平成28年1月14日	エコクリーン相楽 利用者・職員	相楽作業所	手洗い方法の実習
平成27年12月28日 平成28年1月14日	相楽デイセンター 職員	相楽デイセンター	感染症について
平成28年1月19日 1月29日	サポートセンター 職員	ほうその相朋舎	感染症について

② 誤嚥・窒息時の対応（4回）

平成27年10月2・6日	職員	相楽デイセンター	実習含む
平成28年 1月12・21日	職員	相楽作業所	実習含む

※資料①給食提供食数

平成27年度 給食提供食数(単位:食)【相楽作業所分】

2015年度

所属/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相楽作業所 利用者	694	607	691	682	616	642	677	591	591	592	613	660	7,656
心 利用者	138	134	132	168	114	150	139	118	117	117	109	150	1,586
心 職員	60	58	56	68	49	61	64	47	55	50	52	66	686
心合計	198	192	188	236	163	211	203	165	172	167	161	216	2,272
ショートステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修	0	5	0	10	21	45	5	19	4	10	12	0	131
来客(ボラ)	6	8	3	4	3	3	5	6	3	7	4	6	58
職員(相楽作業所)	421	384	442	450	383	409	418	383	388	409	410	426	4,923
職員(その他の所属)	3	9	7	5	6	7	16	8	7	14	17	17	116
総合計(食)	1,326	1,205	1,331	1,387	1,192	1,317	1,324	1,172	1,165	1,199	1,217	1,325	15,156
給食提供日数(単位:日)	21	19	22	22	19	20	21	19	19	19	20	22	243

【相楽デイセンター分】

所属/日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相楽デイセンター利用者	790	717	807	808	661	679	759	694	697	719	753	795	8,879
ていすと 利用者	164	149	161	181	156	166	166	158	158	151	167	176	1,953
ていすと 職員	60	55	57	65	62	59	59	57	54	53	54	57	692
ていすと合計	224	204	218	246	218	225	225	215	212	204	221	233	2,645
ショートステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修	0	1	0	0	0	16	0	4	22	2	38	0	83
来客(ボラ)	4	3	3	4	3	5	4	3	2	4	3	4	42
職員(相楽デイセンター)	269	251	275	260	237	240	262	227	223	237	251	259	2,991
職員(その他の所属)	20	12	15	14	12	14	10	10	11	14	12	16	160
総合計(食)	1,307	1,188	1,318	1,332	1,131	1,179	1,260	1,153	1,167	1,180	1,278	1,307	14,800
給食提供日数(単位:日)	21	19	22	22	19	20	21	19	19	19	20	22	243

社会福祉法人相楽福祉会

平成27年度 相楽地域障害者生活支援センター事業報告(案)

精華町から相談支援事業の委託を受け、精華町在住の障害児者への相談対応を行った。特定相談支援事業、障害児特定相談支援事業において、サービス等利用計画の作成・モニタリング業務を実施した。

京都府総合相談支援体制整備事業の補助を受け、山城南圏域障害者自立支援協議会の運営を行った。

事業内容

<計画に即した評価>

(1) 精華町障害者相談支援事業の実施

①相談支援事業の実施

地域生活に関する相談への対応、サービス利用の調整を行う。

精華町障害者虐待防止センター機能のうち、通報受理および相談等の受付対応を行う。

※平成27年度相談件数等別紙

虐待防止に関する通報等に関して、相談対応するケースはなかった。

②精華町地域障害者自立支援協議会の運営

・協議会の専門部会の活動が円滑に進むよう事務局機能を担う。

精華町地域障害者自立支援協議会活動状況

全体会

開催日	内容	会議参加人数
3月23日	部会活動報告 山城南圏域障害者自立支援協議会報告 意見交換	11名

専門部会

部会名	内容	開催回数
住民参加部会	精華町防災訓練について 京都府聴覚言語障害センター施設見学	3回
権利擁護部会	権利擁護（成年後見など）に関する検討 研修会の開催	3回
発達支援部会	平成27年度開催されず	

③障害支援区分認定調査の実施

・精華町からの委託により、精華町在住者の認定調査を実施する。

27年度件数 31件

(2) 計画相談支援事業・障害児相談支援事業の実施

サービス利用を希望する方個々に応じたサービス調整を行い、サービス等利用計画の作成を行う。また、モニタリングにおいて、本人、家族状況の確認とともにサービス利用が円滑に進んでいるか、サービス内容は適切か、サービス変更の必要性がないかなど確認を行う。

計画件数 248件

精華町、木津川市、京田辺市、宇治市、奈良市を事業実施地域とした。木津川市、京田辺市、宇治市、奈良市に関しては原則相楽福祉会利用者へのサービス提供のみとした。(京田辺市は年度途中で事業実施地域から外した)

サービス利用申請時およびサービス内容変更時に市町村が支給決定を行う前提として「サービス等利用計画」が必須となったため、相談者が困ることのないよう対応にあたった。

山城南圏域内で計画相談を実施している事業所が不足しており、3名の相談支援専門員で一人あたり70~90人分の計画作成を行なうことになり、モニタリング対応が十分にできない状況となった。

報酬請求の方法を間違っ解釈し請求を行っていたため、平成25年度分まで遡り返戻処理をすることになった。計画相談年間収益のうち約17%を返金することになり事業運営に損害を与えることになってしまった。

(3) 京都府障害者相談支援ネットワーク事業における総合相談支援体制整備事業の実施 (山城南圏域障害者総合相談支援センターの運営)

①ゼネラルケアマネジャー(専門相談員)を配置し、山城南圏域内の相談支援機関、事業所等への指導・助言を行う。

②困難ケースなどの個別支援会議の開催を支援する。

新規事業所立ち上げに際しての相談が2件あり圏域内の現状等を伝え助言を行った。事業所内での支援方法などについても助言を行った。

相談支援事業所、その他事業所から困難ケースへの対応についてケース会議への参加の依頼があり参加し、対応について一緒に検討を行った。

③山城南保健所と連携をとり、山城南圏域障害者自立支援協議会の運営を行う。

④市町村地域自立支援協議会の活動について、協力・助言を行う。

山城南保健所と連携をとり、山城南圏域自立支援協議会の運営を行った。圏域の現状として、圏域内東部は人口減少もあり共通課題が見出しにくく協議会の在り方が課題となっている。

市町村協議会も、東部については活動ができていない。木津川市自立支援協議会については、部会活動について参加を行った。

山城南障害者自立支援協議会活動状況

全体会

開催日	内容	参加者数
3月8日	市町村協議会報告 27年度部会活動報告および28年度計画について	26名

専門部会

部会名	内容	開催回数
精神障害者部会	圏域内当事者、関係機関の交流を目的とした活動の実施	部会5回 合同クリスマス会1回 ケース検討会2回 家族交流会・講演会1回
発達支援部会	発達障害者支援ファイル普及について	部会2回 学習会2回
就労支援部会	就労している障害当事者の講演会 障がい者が働く場の見学会	部会2回 啓発・見学会3回
事業所連絡部会	グループガイドヘルプの実施に向けて検討	小部会1回

<資料>

1. 研修会等への参加

日程	研修名	会場	参加
5/18	障害支援区分認定調査員研修	ルビノ京都堀川	1
5/20	城陽支援学校学校説明会	城陽支援学校	1
7/17 7/28 11/16～18	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）	京都テルサ	1
10/21	障害者虐待防止・権利擁護研修	平安ホテル	1
2/8、2/15～16	相談支援従事者現任研修	ルビノ京都堀川	1
3/22	相談支援従事者研修（発達障害）	ルビノ京都堀川	1

2. 会議等への参加

日程	会議名	会場	参加
5/28	精華町就学指導委員会	精華町役場	1
7/30	京都府総合相談支援体制整備事業	ルビノ京都堀川	1
8/20	障害児・者の地域生活支援推進のための多機能拠点づくりに向けた講演会	文化パーク城陽	1
8/24	南山城支援学校教職員研修会	南山城支援学校	1
8/25	城陽支援学校教職員研修会	城陽支援学校	1
2/2	障がい者の態様に応じた多様な委託訓練	けいはんなライ フイノベーション センター	1
2/17	南山城支援学校高等部3年総合学習	南山城支援学校	1
2/19	南山城支援学校高等部3年生保護者進路説明会	南山城支援学校	1

社会福祉法人相楽福祉会
平成 27 年度相楽作業所 事業報告(案)

年間を通して、個々の支援計画に基づき「働く」場の提供と合わせて、余暇や文化的活動を実施し、豊かで楽しいプログラムの提供をした。

作業所においては高齢化が進んでおり、施設内において医療研修（食物窒息・感染症等）及び介護保険制度に関する学習会を実施し、職員の意識向上に努めた。また、次年度に向けた高齢対応のグループ編成の具体的議論を行った。

設備に関して、電気設備等の修繕及び障害特性への対応のための間仕切り等、事業の持続と利用者個々の状況に合わせて改善を行った。

平成 28 年度より高齢の利用者の班編成を行うが、支援内容の充実とさらなる安全確保が大きな課題となる。

<計画に即した評価>

1 基本方針

(1) 一人ひとりのニーズに基づき個別支援計画を作成し、日中支援を行う。

個々の利用者へのアセスメントに基づき、年間支援計画を作成し、支援を行った。10月にモニタリングを行い、年度末にも見直しを行い変化するニーズに即した支援ができるよう配慮した。

(2) 年齢及び障害の状況に合わせた支援を行い、不適切な支援はないか、日々意識的に点検し人権に配慮していく。

年 2 回チェックシートをパートも含めた全職員が行い、自己点検を行った。また、日々の職員打ち合わせにおいて、不適切な言動を互いに出しあい、その都度改善を行った。

(3) 安心安全な環境の改善を進める。

障害の状況に合わせて 2 階の作業場の間仕切りを行い、安定した空間づくりをした。次年度に向けて比較的高齢の利用者のグループ編成、部屋のレイアウトの変更のための具体的論議を進めた。

2 事業内容

(1) 生産活動を中心に、引き続き6班に分かれて、個々の年齢や体力の状況に配慮して「生活介護」の事業を実施する。

- ・個々に合った「働く」場として陶芸・堆肥作り・EMぼかし・下請け等の作業の場を提供する。
- ・陶芸の焼成方法の改善による効率化や途切れない下請け作業を準備することで、無駄を省き安定した仕事を提供する。
- ・障害特性に合わせて作業部屋のレイアウトや設備の改善を行う。

企業や他施設の見学を行い、より利用者個々にあった、途切れない下請け作業への変更を行った。陶芸においては焼成の方法を変更し効率化を図った。

2階部分の間仕切りや加齢に伴う障害の変化にあわせ危険なものを撤去するなど、安全を重視した環境整備に努めた。

(2) 社会参加や楽しみにつながるプログラム提供を行う

- ・絵画、書道、マッサージ、パソコン教室のプログラムを提供し、作業以外の楽しみや社会参加の場を継続して設ける。
- ・旅行や外出を小グループで実施する。
- ・クラブや余暇活動の場を設け、経験を広げる取り組みを行う。
- ・高齢化に対応する、グループ分けやプログラムの模索を始める。

今年度も個々の興味に合わせた、文化的なプログラムや趣味を楽しむクラブ活動の提供を行った。日帰りの旅行も実施し、社会経験の場を設けた。

高齢化に対応するグループの具体化のため、介護保険制度の学習を開始した。今後、具体的な支援内容を充実させるための介護保険事業所等の見学の実施を計画している。

(3) 個別支援計画に基づき支援を行う。

- ・本人のニーズに基づき支援計画を作成し、年度の間で見直しを行う。
- ・個々の支援の在り方について、職員間で共有し日々見直していく。

個々の利用者から聞き取りをし、個々の状況に合わせた支援計画をたてた。計画に基づいて支援をし、10月と3月に評価を行い、次年度の支援計画につなげた。また、班ごとの会議及び職員会議に置いて、個々の利用者の状況を共有するとともに支援課題を明確にした。

(4) 職員間の情報共有、連絡、連携を確実にを行い安定した業務を行う。

- ・職員会議や朝の会において意識的に意見交換し、チームワークを構築していくことを目指す。

職員会議と朝のミーティングを活用し、利用者の情報共有や支援内容の

検討と確認を行った。夕方のミーティングは送迎等の業務拡大傾向のため、開催しにくくなり、個々で日誌確認の徹底を行った。共通理解を深めるミーティングは重要であり、今後の課題である。

(5) 安心・安全で快適な環境を整備していく

- ・破損個所や障害の状況変化による不具合が生じている設備の改善を行う。
- ・施設の改善計画を明確にしていく。

電気系統、トイレの修繕は計画通り行った。危険個所は即座に修繕を行ったが、施設全体の修繕計画の明確化はできず、今後は業者に依頼し修繕計画を立てていく必要がある。

<資料>

1 利用者の状況

1) 利用者数

相楽作業所 38名 (男 27名・女 11名)

2) その他 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

- ・平均年齢 約 45.5 歳
- ・平均在籍年数 約 19 年 9 カ月
- ・平均障害程度区分 4.81

2 活動内容

1) 作業グループ構成 () 内はスタッフ数

陶芸 1	陶芸 2	EM	創作	箱	デイサービス
7名(4)	5名(3)	6名(3)	8名(5)	9名(6)	3名(3)

2) クラブ活動

各クラブ 12 月までにはほぼ月 1 回平日に実施した。

ボウリング		工作	園芸	写真 & 新聞	スポーツ	調理		
①	②					①	②	③
6名	5名	2名	2名	2名	5名	4名	4名	6名

3) 旅行

今年度は日帰り旅行のみ計画・実施した。

○日帰り

大阪アクア	ミシガンク	伊賀の里	宇治	ひらかた
-------	-------	------	----	------

ライナー	ルー		平等院	パーク
2名	2名	2名	2名	2名

4) 行事等

日 程	行事名・内容	参加利用者数（ ）内はスタッフ数	備 考
4/1 (水)	新年度挨拶	利用者全員	食堂にて実施
4/10 (金)	開所記念 写真展示	利用者全員	食堂にて実施
5/31 (日)	精華町ふれあいまつり	2名 (2)	かしのき苑
9/4 (金)	利用者検診 (女性)	9名	精華病院
9/11 (金)	利用者検診 (男性)	20名	精華病院
10/9 (金)	日帰り旅行	2名(2)	アクアライナー
10/16 (金)	日帰り旅行	2名(2)	ミシガン
10/25 (日)	精華町障害児者ふれあいのつどい	15名 (12)	むくのきセンター
10/29 (木)	インフルエンザ予防接種	23名	所内
11/6 (金)	日帰り旅行	2名(2)	伊賀の里
11/13 (金)	日帰り旅行	2名(2)	ひらかたパーク
11/15 (日)	精華祭り	6名(4)	けいはんな公園
11/20 (金)	日帰り旅行	2名 (2)	平等院
12/1 (火)	歯科指導	利用者全員	所内
12/4 (金)	歯科指導	利用者全員	所内
1/15 (金)	新年会	利用者全員	所内
3/31 (木)	お別れ会	利用者全員	食堂にて実施

5) その他

調理、お菓子作り、散歩、カラオケ、スヌーズレンー各Grで実施
 絵画 (毎週水曜日)、書道 (月1回)、パソコン (第1金曜日の午後)
 医療マッサージ (週1回木曜日) 3B体操ー希望者が参加

3 研修・出張 (主だったもの)

日 程	研修名・内容	会 場	参加数
4/17 (金)	ふれあいまつり実行委員会	かしのき苑	1名
4/19 (日)	精華町グローバルネット総会	精華町役場	1名

4/ 21 (火)	精華町自立支援協議会総会	精華町役場	1名
4/20~21	福祉有償運送研修	K S プラザ	1名
4/ 23 (木)	京都社会就労センター研修	京都テルサ	1名
4/ 25 (土)	法人研修 (他施設に学ぶ)	かしのき苑	16名
5/ 15 (金)	精華町自立支援協議会研修	精華町役場	1名
5/ 25 (月)	精華町平和祭典実行委員会	精華町役場	1名
5/25 6/23 7/30 8/31	スーパーバイザー養成研修	こどもみらい館 京都テルサ 他	1名
5/ 26 (火)	ふれあい祭り実行委員会	かしのき苑	1名
5/ 30 (土)	栄養士研修	京都府中小企業会館	1名
6/ 1 (月)	ほっとはあと施設見学会	あおはに会	1名
6/ 5 (金)	福祉職のためのマナー研修	京都社会福祉会館	1名
6/ 16 (火)	精華町人権啓発委員会	精華町役場	
6/ 17 (水)	福祉職のためのマナー研修	京都テルサ	1名
6/25 (木)	精華町平和祭典実行委員会	精華町役場	1名
6/29 30	全国知福協施設長研修	東京国際フォーラム	1名
7/ 5 (日)	栄養士研修	京都女子大学	1名
7/ 8 (水)	ふれあいまつり実行委員会	かしのき苑	1名
7/ 14 (火)	精華町人権啓発委員会	精華町役場	1名
7/17・21 11/16・17・ 18日	強度行動障害支援者養成研修	京都テルサ	1名
7/ 24 (金)	法人研修 (身体介護)	デイセンター	16名
8/12・13 24・25 9/1・2日	相談支援従事者初任者研修	京都テルサ他	1名
8/ 18 (火)	京都知福協倫理委員会	京都福祉会館	1名
8/ 28 (金)	精華町自立支援協議会	精華町役場	1名
9/ 28 (月)	せいかまつり実行委員会	精華町役場	1名
10/ 2 (金)	安全運転管理者講習会	アスパシア山城	1名
10/ 15 (木)	ふれあいまつり実行委員会	精華町役場	1名
10/ 24 (土)	法人人権研修	かしのき苑	12名
10/ 25 (日)	栄養士研修	同志社女子大	1名
10/ 30 (金)	せいかまつり実行委員会	精華町役場	1名
11/17 (火)	感染症予防講習会	山城南保健所	1名

11/19 (木)	施設内研修 (介護保険制度)	作業所	14名
12/9 (水)	他施設見学	Dプロジェクト	1名
12/11 (金)	法人研修 (自閉症)	作業所	16名
1/4 (月)	精華町商工会賀詞交歓会	精華町商工会	1名
1/12 (火)	施設内研修 (食物窒息予防)	作業所	15名
1/21 (木)	施設内研修 (食物窒息予防)	作業所	11名
1/21 (木)	施設内研修 (感染症)	作業所	15名
2/9 (火)	京都知福協職員研修	京都平安ホテル	1名
2/18 (木)	ふれあいまつり実行委員会	精華町役場	1名
2/25 (木)	精華町企画調整課会議	精華町役場	1名
3/23 (水)	精華町自立支援協議会	精華町役場	1名
3/24 (木)	2017年卒業予定学生就職説明会	キャンパスプラザ	2名
3/29 (火)	せいかまつり実行委員会	精華町役場	1名

4 見学・実習

① 見学・来訪 (合計 61 件)

行政関係 5 件

施設 4 件

学校関係 9 件

企業 15 件

親の会関係 3 件

地域団体 6 件

その他 8 件

② 実習 (合計 7 人)

介護体験 3 名 社会福祉士 3 名 高校生体験 3 名 施設体験実習 3 名

5 所内事故・苦情

	内 容	件 数
事 故 等	服薬ミス (作業所内の昼食)	0 件
	車両接触	2 件
	怪我 (転倒)	0 件
	怪我 (利用者トラブル)	0 件
	怪我 (支援者と接触)	1 件
	器物破損	1 件
	感染症	0 件
	見失い	0 件
	個人情報	0 件
	送迎ミス	0 件
苦 情	班編成について	

		1 件
その他		0 件

6 その他

日 程	内 容	備 考
4/11・12	2階作業室間仕切り工事	作業所2階
5/3・4	点字ブロック	作業所玄関
5/3・4	厨房工事（床の塗り替え）	作業所厨房
5/13（水）	親の会総会	かしのき苑
5/14（木）	法人監事監査（会計）	富田監事
5/18（月）	法人監事監査（事業）	乗光監事
5/21（木）	理事会	相楽デイセンター
9/13（日）	ワックスがけ	フジハラ美装
11/13（金）	避難訓練	所内
11/16（月）	税務署監査	
12/28（月）	浄瑠璃寺餅つき	作業所1階
3/17（木）	避難訓練	所内
3/22（火）	理事会	デイセンター

社会福祉法人相楽福祉会
平成27年度 相楽デイセンター事業報告（案）

利用者の「人権」に対しては、「振り返りシート」の書式の見直しを行った。常に自分を振り返ることを継続して話し合っていくことの必要を感じた。

パン作業に関して一部独立を検討したが、実現することは出来なかった。また18年間営業してきた喫茶を今年度をもって終了することになった。利用者の作業のあり方や工賃等について継続して考えていく必要がある。

今年度初めて事業所会議とは別に、班の主担当会議を行った。上記の「人権」にもあるように業務や検討課題をスムーズに行っていくためにも継続していきたい。

インフルエンザに関しては検温等バイタルチェックの徹底により、少数の感染にとどめ休所をせずに乗り切ることが出来た。体調管理が必要な利用者もおられるので今後も継続してチェックを行っていく。

施設の設備改修は、親の会の寄贈や馬主財団の助成により車両購入や電気設備等の交換等を行った。計画的に改修を進めて行くため予算化を考えていく。

<計画に即した評価>

1. 日中活動

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・生産活動の在り方を見直し、メンバー構成や工賃などを見直す1年とする。・個別支援計画に基づき、個々に対応したプログラムを実施する。 |
|--|

パン班の一部独立化による就労グループの立ち上げは班職員と内容について検討したが、方針変更により実現しなかった。その計画をもって工賃の見直しを考えていたが、進めることは出来なかった。ただ、ボーナスに関してはデイサービス班や休みの多い利用者に見直しが必要と思われる。

喫茶に関しては今年度をもって閉店した。売り上げに係る費用対効果もあるが、今後については他のプログラムや作業等に有効活用していく方法がないかを検討していきたい。

個別支援計画は例年通り作成し、見直し、後期計画、振り返りを行った。

作業売り上げは昨年と比べ減少した。注文やバザーの売り上げ減が要因と思われる。今年度をもって京田辺市役所やピノスの販売を終了したので、今後の方向性を検討すべきである。

班での楽しみのプログラムは継続し、利用者の会でも各種活動を実施した。

2. 支援の質の向上

- ・「人権」を尊重し利用者個人に合わせた支援を行っていく。
- ・班会議や事業所会議を行い、職員間で相互指摘できる環境を作る。
- ・職員が自身を振り返る時間を定期的に設け、常に安心安全を配慮した支援を行う。
- ・日々の情報共有を行い、チームとして支援できるよう努める。OJTを重視し業務を連携する。
- ・介助方法や業務内容を定期的に見直し、職員間で共有し、安心・安全な支援を行う。
- ・法人内部および外部研修を活用し、資質の向上に努める。

デイセンター会議は月1回実施したが班別会議は昨年と比べ減少した。人権に関しては「振り返りシート」や会議、研修等で機会を持ったが意識を継続していくことの難しさを感じた。引き続き周知徹底や振り返りの機会を行っていく。

今年度試行として「主担当会議」を行った。各主担当から班毎に業務を引き継いだり、現状の課題等の確認を行った。

研修は法人内外の研修に参加した。(施設内研修5回に延べ54名、法人内研修8回に延べ67名、3号研修に2名、有償運送研修に5名、他外部15研修19名)

3. 事業所機能の充実

- ・「安心・安全の確保」については最重要課題として安全管理に努める。「服薬」や「運転」に関しては事故の防止を継続する。
- ・インフルエンザ等の感染症に対して、予防の徹底と感染拡大を防ぐために休所を含めた迅速な対応をおこなう
- ・開所17年を越えるため、設備・車両等の老朽化に対して改善を行う。
- ・職務軽減、業務の効率化に対して検討し具体化に努める。
- ・年2回の防災訓練を計画実施する。
- ・他事業所、行政、関係機関と連携し業務を行う

服薬ミスは1件、車両接触が3件あった。引き続き安心安全を確保していくため日々の振り返りと確認を行いたい。来年度に向けてルートの確認・変更を実施していく。

インフルエンザ等感染予防は、2月より1日2回の検温を実施した。発熱等体調不良の利用者に対しては早退等の対応を行った。結果少数の感染はあったが休所等には至らなかった。健康についての配慮が必要な方も多いため継続していきたい。

電気設備(キュービクル補修)やアンプ等の交換を行った。また共同募金会の補助決定を受けてチェアキャブ(日産NV200)を購入。親の会よりスズキエブリイを寄付頂いた。

エアコンの改修については活用できる基金が難しいため、数年にわたり法人内での計画を立てていくこととした。

防災訓練は2回実施した。車いすの方の避難手段として階段に設置できる滑り台を見積もりを行い、来年度に予算化した。(実施中)

<資料>

1 利用者の状況（平成28年3月31日現在）

- ・利用者数：45名（男23名、女22名）
- ・平均年齢：約38.78歳
- ・平均在籍年数：約18年4か月
- ・平均障害程度区分：4.95

2 活動内容

（1）作業グループ

例年同様の構成で活動した。生産活動グループは、前年度比で売り上げは減少した。

パン・喫茶	紙漉	染織	花工芸	デイサービス
11名（5）	9名（5）	9名（5）	11名（5）	5名（4）

（ ）内はスタッフ数

（2）クラブ活動

各クラブ平日に実施。費用は事業所負担とした。

音楽		カラオケ			プール・温泉		散歩		写真
①	②	①	②	③	①	②	③	④	
4名	3名	5名	5名	5名	2名	3名	5名	4名	6名

（3）旅行

今年度は日帰り7グループと、宿泊3グループを実施した。宿泊は前年度からの残り3グループを実施した。

日帰り

海遊館	サンタマリア号	遊悠工房	太秦映画村	USJ	京都市動物園
4名	2名	2名	3名	2名	2名

宿泊

城崎マリンワールド	名古屋港・水族館	神戸港・有馬
4名	3名	5名

（4）行事等

日程	行事名・内容	参加利用者数 （ ）はスタッフ数	場所
4/4（土）	木津さくらまつり	25名（15）	木津川市中央体育館
5/2（土）	GWにおける半日開所	33名（17）	デイセンター
5/8（金）	オムロンデー交流会	32名（16） 社員14名	デイセンター

日 程	行事名・内容	参加利用者数 ()はスタッフ数	場所
5/16 (土)	同志社国際学院きづな祭販売	(1)	同志社
6/29 (月)	班別行動 (染織)	8名 (5)	くずはモール
7/2 (木)	木津川台保育所と七夕交流会	35名 (16) 園児 24名 (3)	デイセンター
7/24(金)	班別行動 (紙漉)	9名 (6)	あべのハルカス
9/10 (木) ~ 11 (金)	宿泊旅行	4名 (2)	白浜
9/18 (金)	日帰り旅行	4名 (5)	海遊館
9/19 (土)	シルバーウィークにより半日 開所	27名 (18)	デイセンター
9/25 (金)	施設見学 (利用者の会)	3名 (1)	ワーキングセンタ ーいづみ
10/5 (月)	日帰り旅行	2名 (3)	サンタマリア
10/17 (土)	デイセンター交流会	28名 (23) 家族 16名	デイセンター
10/23 (金)	日帰り旅行	2名 (3)	悠悠工房
10/27 (火)	南山城支援学校芸術祭	4名 (4)	支援学校
10/29 (木) ~30 (金)	宿泊旅行	3名 (2)	名古屋
11/2 (月)	班別行動 (パン)	9名 (5)	あべのハルカス
11/6 (金)	日帰り旅行	3名 (3)	太秦映画村
11/7 (土)	木津川市スポーツ大会	22名 (15)	木津川市中央体育館
11/12 (木) ~13 (金)	宿泊旅行	5名 (3)	神戸港・有馬
12/3 (木)	日帰り旅行	2名 (2)	USJ
12/4 (金)	日帰り旅行	2名 (2)	京都市動物園
12/11 (金)	同志社国際学院クリスマス会	23名 (9) 生徒教員 63名	デイセンター
3/15 (火)	班別行動 (花工芸)	10名 (5)	友愛の丘
3/16 (水)	班別行動 (デイサービス)	3名 (4)	くずはモール
3/30 (水)	班別行動 (紙漉)	9名 (5)	ここらく

(5) その他

調理、お菓子作り、散歩、カラオケ、スノーブレン・・・各グループで実施。
 絵画 (週 1 回)、パソコン (月 3 回)、音楽プログラム (月 2 回)、書道 (月 1 回)、
 医療マッサージ (週 1 回)

・・・希望者が参加

3 研修・出張

日 程	研修名・出張先	主催／行先	参加
4/9(木)	浄瑠璃寺行者まつり打ち合わせ 他 5/7(木)	浄瑠璃寺	1名
4/10(金)	法人内研修「新任」、他 5/8(金)	デイセンター	3名
4/23(木)	セルフ協総会	ハートピア京都	1名
4/25(土)	法人内研修「他事業所の実践」	相楽福社会	13名
5/14(木)	キャリアアップ(初任者)研修、 他後 5/28(木) 7/3(金)	京都府社協	1名
5/19(火)	喀痰吸引等3号研修 他 6/28(木) 29(金)	京都福祉サービス協会	2名
5/22(金)	法人内研修「地域の資源・相談支援」	デイセンター	9名
6/1(月)	施設見学(ほっとはあと)	青葉仁会	1名
6/5(金)	障害福祉サービス事業者等集団指導	京都府	1名
6/18(木)	マナー研修(中級)	京都府社協	1名
6/22(月)	食品表示法対応セミナー、 他 7/30(木)	NPO 法人 トゥギャザー	1名
6/26(金)	キャリアアップ(中堅)研修 他 7/21(火) 9/10(木)	京都府社協	1名
6/29(月) ~30(火)	全国施設長研修	知的障害者福祉協会	1名
7/2(木)	キャリアアップ(初任者)研修、 他 7/9(木) 9/3(木)	京都府社協	1名
7/14(火)	山城南圏域障害者自立支援協議会、他 9/8(火) 12/8(火) 2/9(火) 3/8(火)	山城南保健所	1名
7/17(金)	強度行動障害支援者養成研修 後 7/21(火)	京都府社協	1名
7/24(金)	法人内研修「身体介護」	相楽福社会	16名
7/28(火)	精華町ふれあいのつどい実行委員会 他 9/9(木) 10/15(木) 12/4(金)	かしのき苑	1名
7/30(木)	OJT研修 他 9/15(火) のみ 1名 11/17(火)	京都府社協	2名
8/12(水)	相談支援従事者初任者研修(基礎) 他 8/13(木) 8/24(月)	京都府社協	1名
8/25(火)	相談支援従事者初任者研修(演習) 他 9/1(火) 9/2(水)	京都府社協	1名
8/26(水)	コーチングスキルアップ研修 他 8/27(木)	京都府社協	1名
9/14(月)	福祉有償運送運転協力者講習会 他 9/15(火)	移動送迎支援活動情報センター	1名
10/2(金)	安全管理者講習	京都府公安委員会	1名
10/2(金)	施設内研修「誤嚥」他 10/7(水)	デイセンター	28名

日 程	研修名・出張先	主催／行先	参加
10/5 (月)	法人内研修「新任」 他 10/8 (木) 10/15 (木)	デイセンター	1名
10/12(月)	福祉有償運送運転協力者講習会 他 10/13 (火)	移動送迎支援活動情報センター	1名
10/24(土)	法人内研修「虐待」	かしのき苑	7名
10/25 (日)	精華町ふれあいのつどい	むくのきセンター	1名
11/6 (金)	施設内研修「感染」 他 12/28 (月) 1/14 (木)	デイセンター	27名
11/10 (火)	食品表示法研修	京都府	2名
11/16(月)	福祉有償運送運転協力者講習会 他 11/17 (火)	移動送迎支援活動情報センター	1名
11/27(金)	医療的ケア	家庭支援総合センター	2名
12/11(金)	法人内研修「自閉症」	かしのき苑	12名
12/14 (月)	福祉有償運送運転協力者講習会 他 12/15 (火)	移動送迎支援活動情報センター	1名
1/18 (月)	福祉有償運送運転協力者講習会 他 1/19 (火)	移動送迎支援活動情報センター	1名

4 見学・実習

(1) 見学・来訪 (合計30件)

企業・・・21件

学校関係・・・4件

施設・・・3件

その他・・・2件

(2) 実習 (合計14人)

社会福祉実習・・・4人

保育士実習・・・4人

その他・・・1人

5 所内事故・苦情

前年度比で、総件数は増加した。個人情報管理ミスや服薬ミスは増加した。感染症は検温等の対応もあり、前年度比20件減少した。怪我は微減した。苦情はサービスのお断りと予定の連絡ミス、職員の対応等に対してあった。

	内 容	件 数	備 考
事 故 等	対人トラブル	7件	
	車輻接触	3件	接触
	怪我	5件	切り傷、擦り傷など
	個人情報	4件	行事レジメ管理など
	感染症	2件	インフルエンザ(利用者2名)
	服薬ミス	2件	確認ミス
	連絡ミス	1件	

苦情	職員言動・対応について	6件	サービスのお断りに対して等
----	-------------	----	---------------

6 その他

日 程	内 容	備 考
4/20 (月)	木津署と話し合い	
5/12 (火)	蛇口増設 (デイサービス外側)	
5/18 (月)	法人内部監査	
5/21 (木)	理事会 他 3/22(火)	デイセンター
5/22(金)	親の会より「エブリィ」寄贈	
7/23 (木)	消防本部立ち入り検査	相楽中部消防本部
7/29(水)	防災訓練、他 11/4 (水)	
9/3 (木)	女性利用者健診	精華町国保病院
9/10(木)	男性利用者健診	精華町国保病院
9/13(日)	ワックスがけ	フジハラ美装
11/4(水)	木津育栄会マドレーヌ寄付	
11/5(木)	インフルエンザ予防接種 (デイセンターにて)	精華町国保病院
11/17(火)	オムロン医療機器寄贈	体温計など
12/7(月)	歯科指導、他 12/10(木)	
12/13 (日)	貯水槽ポンプ修理	オリックス ファシリティーズ
1/13(水)	元利用者小林さんから絵画、カラオケ チップ寄贈	
1/28(木)	馬主財団助成のバネットNV200 納車	
3/14(月)	事務所アンプ交換工事	モリタ電化

社会福祉法人相楽福祉会
平成27年度 精華地域活動センター「心」事業報告（案）

今年度は入院しておられた利用者が逝去されるという悲しい出来事があった。改めて利用者の生活、人生を支えるとはどういうことか、日々の小さな変化にどれだけ気付き、支援できているのかを振り返る日々となった。

利用者の高齢化が進み体力に応じた作業内容を設定したが、仕事に対する意欲と体力のバランスを取ることが難しく、利用者・ご家族と今後より充実した時間を過ごしてもらえるよう他事業所の利用や現在は使っていないサービスの利用を含めた話し合いを丁寧にしていく必要性を感じた。

こころ事務所についてはほとんど使用することがなく、効率化の為 11 月末に廃止し事務所は作業所内に置くことになった。全体的な収入や支出のバランスについて見直し、効率的な運営をしていくことが今後の課題である。

<計画に即した評価>

1 基本方針

(1) 人権に配慮し個々に合わせた適切な支援

日々のミーティングや会議において不適切な言葉遣いや行動をとっていないか見直し、お互いに指摘し合った。また、利用者一人ひとりにアセスメントを行った上で支援計画を作成し支援を行った。10月、年度末に見直しを行い、常に変化するニーズに対応できるよう配慮した。

(2) 「働く場」としての生産活動

意欲を持って働けるよう各利用者の体力や可能性に応じた仕事内容を検討し、新しい作業に挑戦することで自信につなげることができた。

(3) 高齢化、安心、安全を最優先に考え設備面の改善及び支援内容の見直し

喫茶、厨房、利用者の過ごす部屋の片付けや整理を行い、以前よりどの利用者も動きやすい環境にすることができた。厨房内で使用していたガスコンロをIHコンロにすることでより安全に仕事ができるようになった。

(4) 各職員の役割を明確にするとともに計画及び報告を確実にを行い、組織的運営を行う

ミーティングや会議等において情報の共有、報告、意見交換を行った。各職員から積極的に意見があり、心全体の運営を協力して行うことができた。

2 事業内容

(1) 人権を尊重し、丁寧に支援する。

- ・ニーズや思いに対して丁寧に支援する。
- ・支援内容について職員間で相互指摘し、人権に配慮した支援を行えているか相手の立場に立って具体的に振り返る。また相互指摘により、人権について常に意識する。
- ・外部、内部研修への参加を促進し、支援の向上に努める。
- ・個別支援計画について定期的に見直す。

毎日のミーティングの時間に各利用者の状況や支援内容について話し合い、日々変化するニーズに対応した。その中で支援の内容についてそれで良かったのか、違うアプローチがあったのではないかと、また人権に配慮できていたのか常に振り返ることを大切にされた。また、個別支援計画に基づいた支援をし、10月と3月には見直しを行い個々の利用者のニーズに沿えるよう努めた。

外部研修については体制的に業務上必要なものしか受けることができなかった。支援の向上や他事業所の職員と交流することでモチベーションを高め自分の支援を振り返ることにつながるため、積極的に受けることができる体制作りが必要である。

(2) 喫茶こころの運営。

- ・「喫茶こころ」の運営を通して地域の方々と交流を深める。
- ・積極的な運営に努め、地域の行事、イベントなど広く活動することを目指す。
- ・一人ひとりに会った作業設定を行う。

地域の方からの販売や喫茶開店の依頼にはできるだけ対応し、積極的に交流を深めることができた。販売の体制が厳しく売上の少ない販売先については何度も話し合いを行った結果、年度末で終了することになった。今後、新たな販路の開拓と現販売先について体制面と売上の両面から見て継続すべきか時間をかけて検討する必要がある。

(3) 安心、安全な環境を整える。

- ・利用者、家族、医療機関、他事業所と連携し、健康管理に努める。
- ・ヒヤリハットの報告、公開等で情報を共有し、職員の安全意識をより高める。
- ・作業等環境の見直しを丁寧に行い、安心安全な環境を整える。
- ・利用者の方の高齢化における諸課題について、管理職会議などで報告、相談し、法人全体の課題として情報を共有し取り組む。
- ・高齢化による対応のひとつとして他事業所との相互利用も視野に入れて連携し協力することで、利用者の方の選択肢の幅も広がるという前向きで適切な支援を行う。

グループホームの利用者が多く、そして自ら体調不良を訴えることが難しい方が多いため、グループホーム職員や看護師と連携し早め早めに通院する等の対応を行った。高齢化における課題については管理職会議等で報告し情報の共有を図った。今後他の事業所やサービスを並行して利用することで、より豊かな時間を過ごせるようご本人・ご家族と相談しながら進めていく。

- (4) 職員間の情報共有、連絡、連携を確実にを行い安定した業務を行う。
- ・ミーティングの時間を活用して積極的に意見交換し、チームとしての力を高めることを目指す。

毎日のミーティング、会議等において情報の共有や意見交換を行った。ミーティングだけではなく、状況に応じて日中に報告や相談を行いその場に必要な支援を行うことができた。

<資料>

1 利用者の状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

- ・利用者数 9 名（男 2 名・女 7 名）
- ・平均年齢 約 46.7 歳
- ・平均障害程度区分 約 4.3

2 活動内容

・喫茶ところ

毎週火曜日～土曜日に営業（祝日は休業）

5 月、11 月、2 月にかしのき苑、または地域の行事に伴い臨時開所（翌火曜日を代休とした）

・配達

約 17 回／月

- 配達先
- ・精華町役場職員
 - ・地域の小学校（学童保育）
 - ・地域の保育所職員 など

・販売

日程	販売先	備考
毎月 1 回	南山城支援学校	
毎月 1 回	精華町庁舎販売	
毎月 1 回	ピノス販売	
毎月 2 回	発達支援センターすてっぷ	
毎土曜日	J A 精華町農産物直売所	J A へ委託
4/26(日)	いのちのリレーまつり	職員 2 名参加
5/31(日)	ふれあいまつり	臨時開所 利用者 8 名・職員 4 名参加
6/21(日)	文化フェスティバル	職員 2 名参加
7/11(土)	ひかりだい保育所夏祭り	利用者 8 名・職員 3 名参加
7/28(火)	夏季地域学校	注文
8/22(土)	精華台一丁目夏祭り	利用者 8 名・職員 3 名参加
8/22(土)	光台実行委員会・光台夏祭り	注文
10/25(日)	精華町障害児者ふれあいのつどい	注文（職員 2 名参加）

11/15(日)	せいか祭り	臨時開所 利用者7名・職員3名参加
12/6(日)	チャリティーフェスティバル	職員2名参加
12/22(火)	シルバー人材センター クリスマス会	利用者2名・職員1名参加
1/13(水)	シルバー人材センター 新年会	利用者2名・職員1名参加
2/2(火)	南陽高校文化祭	注文
2/3(水)	南陽高校文化祭	注文
2/7(日)	文化を創るつどい	臨時開所 利用者7名・職員3名参加
2/7(日)	鹿背山婦人会	注文
3/6(日)	ドッジビー競技大会	職員2名参加
3/12(土)	こどもまつり	利用者3名・職員2名参加
3/13(日)	せいか見守りフォーラム	職員2名参加

・その他

ししゅう（毎木曜日）、絵画（作業所のプログラムに参加・隔週）、
パソコン（毎水曜日）、ウォーキング、畑作業
カラオケ・調理・外食など（第1土曜日）
体重測定（月1回）、医療マッサージ、健康診断

3 ボランティア活動

日程	ボランティアグループ	利用者数
第3水曜日	収集ボランティアさくらの会	1名
第3木曜日	古布裁断ボランティアこっとな	1名

4 行事等

日程	行事名・内容	利用者数（職員数）
4/4(土)	花見（けいはんな記念公園）	8名（3名）
5/26(火)	精華町特定健診（女性）	3名
5/28(木)	精華町特定健診（男性）	2名
9/4(金)	健診（女性）	5名
10/9(金)	日帰り旅行（USJ）	9名（4名）
10/25(日)	ふれあいのつどい	5名（1名）
11/15(日)	せいか祭り	7名（3名）
1/5(火)	新年会（かしのき苑で調理）	8名（3名）

5 研修・出張

日程	研修名・内容	会場	参加数
4/25(土)	法人内研修（他法人の実践に学ぶ）	かしのき苑	2名
5/22(金)	精華町ボランティアセンター運営委員会	かしのき苑	1名

5/22(金)	法人内研修 (地域の資源及び相談支援の状況・支援センターの現状)	デイセンター	1名
6/5(金)	障害福祉サービス事業者集団指導	文化パルク城陽	1名
6/18(木)	福祉職のためのマナー研修	京都社会福祉会館	1名
6/22(月)	食品表示法対応セミナー	CANVAS 谷町	1名
7/10(金)	どんちゃんパン会議	かしのき苑	1名
7/24(金)	法人内研修 (身体障害者の介助)	デイセンター	1名
8/5(水)	食品衛生責任者実務講習会	加茂文化センター	1名
10/24(土)	法人内研修 (人権研修)	かしのき苑	1名
12/11(金)	法人内研修 (自閉症の理解)	作業所	1名
12/15(火)	食品衛生責任者講習会	文化パルク城陽	1名
12/25(金)	手洗い研修	作業所	利用者7名 職員4名
2/24(水)	ボランティアセンター運営委員会	かしのき苑	1名

6 所内事故・苦情

内 容		件数
事故等	怪我 (火傷)	1件
	出火 (ゴミに落ちた紙が一瞬燃える)	1件
苦情	異物混入 (学童に配達のパン)	1件
	職員の対応について	1件

7 その他

日 程	内 容
6/17(水)	大雨の為個別送迎
6/20(土)	喫茶こころ害虫駆除
7/7(火)	利用者1名逝去
7/16(木)	台風接近の為個別送迎
7/17(金)	大雨警報の為個別送迎
8/5(水)	かしのき苑外壁工事の為臨時休所
9/17(木)	光台民生委員見学
9/9(水)	台風接近に伴いピノス販売・精華台保育所配達中止
10/13(火)	喫茶こころレジの鍵紛失
11/30(月)	心事務所廃止
12/1(火)	避難訓練 (かしのき苑と合同)
12/26(土)	喫茶こころ害虫駆除
1/30(土)	かしのき苑ワックスがけ
3/9(水)	ピノス販売終了
3/11(金)	避難訓練 (かしのき苑と合同)

平成27年度（クリエイティブスペース）ていすと事業報告（案）

革作業と下請け作業のふたつを作業の柱として、より作業活動に重点をおいた事業所作りを心掛けた。また近い将来に計画されている小規模事業所合築を見据えての一年間であった。

革作業では展示会の開催やSNSの活用など、より幅広く販売する事を心がけ、地域の委託店舗とも頻繁に連絡を取り合い売り上げアップに繋がった。下請け作業も一年をとおしてほぼ安定した仕事量を確保できた。

昨年と同じく、利用者の高齢化・重度化が課題になった。レクリエーション内容の見直しや支援方法を話し合い、より安全に活動できるよう意識した。その結果大きな事故やヒヤリハットはなく一年を終える事ができた。次年度の4月に、新規利用者の受け入れと他事業所へ異動される方が決まり、下半期は引継ぎやケース会議等に時間をかけた。

〈計画に即した評価〉

基本方針

1 小規模事業所としての良さを生かして、利用者一人ひとりのニーズに基づき「個性」を大切にした視点で支援をする。

5月に個別支援計画を作成、10月に見直しを行った。支援計画をもとに日々の反省会の中で作業内容の検討や日中の過ごし方を話し合った。またていすと会議を実施し、事業所の目指す方向性の確認や、利用者への対応、言葉遣いに対して話しあう機会を設けた。

2 作業活動を通して、経験と出会いを大切に、地域とのより広い関係の構築を目指す。

以前よりも作業を中心にした事業所作りを行った。個々の利用者が集中しやすい環境を整え、作業中の約束事なども確認し合った。委託店舗への納品も頻繁に行い、その中で革製品の展示会を開催する事ができた。展示会をきっかけに見学や取材も増え、製品の売り上げにも繋がった。製品作りや販売を通して、一般のお客さんや店舗の方と接する機会が増えてきている。

3 利用者の人権を尊重し、安心・安全な活動環境を整える

障害の重度化、高齢化が課題となる中、日々の活動の中でいかに安全に過ごすかを話し合い、レクリエーションの見直しや支援方法の統一などを図った。幸い大きな怪我や事故もなく一年を終える事ができた。また利用者への言葉がけや対応など、より人権に配慮した支援がなされているのか話し合う場をもった。

2 事業内容

(1) 精華地域活動センター「心」と一体的に生活介護事業を運営する。

直接の交流はなかったが、パン製造と革作業/下請け作業と各々の事業所で生活介護事業を展開した。

(2) 日中活動において、利用者一人ひとりの個別支援計画に基づき支援する。

- ・ 個別支援計画の定期的な見直しを行い、細やかな意見の聞き取りと、より充実した支援を行う。
- ・ 毎日のケース検討により、支援の経過や課題等をスタッフ間で共有する。

5月に個別支援計画の作成、10月に見直し、3月に支援計画の総括を行った。アセスメントや支援計画を元に、毎日の反省会においてスタッフ間で話し合い支援の方向性を検討した。また利用者の持つ課題によっては、他事業所も交えてのケース会議を開催した。

(3) 作業活動を主体に、工賃アップに繋がるような作業を提供し、日中活動の充実を図る。

- ・ 質の高い革製品づくりを行い、販路を広げる。
- ・ 下請け作業に継続して取り組む。

革製品についてはスタッフも利用者の方も技術が上がり、委託販売店舗も7店舗に増えそれに伴い売り上げもアップした。また下請け作業も途切れなく提供する事ができ安定した収入に繋がった。しかし利用者の方の工賃を上げるまでには至らず引き続き今後の課題として残っている。

〈資料〉

1 利用者の状況

男性 5名 女性 4名 合計 9名（職員3名）
平均障害程度区分 4, 6
平均年齢 47.3歳

2 日中活動内容

(1) 革作業

革製品の製作。（キーケース、財布など）
木津川市、奈良市の委託店舗で販売。

(2) 下請け作業

「金具（ウレタンシール貼り）」「紙管（筒入れ）」
「からみ（輪っか）」の各種作業を実施した。

(3) 委託販売先（浄瑠璃寺）訪問

不定期ではあったが、製品の在庫確認・整理を行った。

(4) タグ制作

牛乳パックを再利用して法人内で使う値札作りを担当した。

(5) その他

カラオケ（3ヶ月に1回）、調理（昼食・お菓子：不定期）、絵画（作業所プログラム毎週）、木津育栄会とお菓子づくり（年2回）、
体重測定（月1回）、入浴支援（一部利用者に週1回）

3 行事関係

日 時	内 容	場 所
4月10日	花見	(雨天の為、所内レクに変更)
6月26日	植物園	
7月24日	カラオケ外出	かしのき苑
8月26日	木津育栄会お菓子作り	保健センター
9月8日	避難訓練	所内
10月9日	日帰り旅行	太秦映画村
11月15～18日	革製品展示会	人と木
11月27日	カラオケ外出	
1月15日	新年会（カラオケ）	
1月27日	木津育栄会お菓子作り	保健センター
2月23日	避難訓練	所内

3月9日	避難訓練	所内
3月28日	お疲れ様会(カラオケ)	かしのき苑

雨天の影響で、例年行っている行事が一部中止になった(花見、外出等)。また利用者の体力的な問題から自粛したり、規模を小さくして行事を行う事が多かった。11月に初めて地域のお店を借りて革製品の展示会を開催。場所やコンセプトを変えて、次年度も実施していきたい。

4 事故、苦情

内 容	
事故	0件
苦情	0件

主だった事故や苦情はなかったが、日帰り旅行の際、一時的に利用者を見失うなどのヒヤリハットがあった。またご家族が高齢になり、家庭での住み辛さや不安を訴えるケースが増えてきている。

5 見学、実習 受け入れ

日 時	内 容
4月21日	支援学校保護者 見学
8月3～5日	支援学校実習生受け入れ
9月14日	タイムワークサポート見学
10月20日	京都新聞 取材
11月2日	支援学校保護者 見学
11月26日	利用希望者 見学
1月25日	セルビアより見学

定員に一名空きがある為、卒業を見据えての支援学校からの見学が多かった。また在校生の職場実習を受け入れ、そこから次年度の新卒利用者の受け入れに繋がった。

6 その他

・ 会議、研修等

	内 容
4月25日	法人内研修 (他施設に学ぶ)
6月5日	京都府集団指導
7月24日	法人内研修 (身体介助)
10月24日	法人内研修 (人権について)
11月19日	施設内研修 (介護保険制度)
12月9日	Dプロジェクト見学
1月7日	施設内研修 (感染症)

3月5日	新栄工業見学（下請け作業）
------	---------------

法人内や施設内で設定された研修には参加し、基本的な知識を学ぶ事はできたが、3名と少数のスタッフ配置の中、日中にスタッフが抜ける程の人的余裕がなく、他施設の見学や研修に参加する機会は少なかった。

- ・避難（防災）訓練 2回実施
- 利用者健診（内科） 1回実施

社会福祉法人相楽福祉会
平成 27 年度 エコ・クリーン相楽事業報告(案)

清掃作業において年間を通して計画的に作業設定を行い滞ることなく遂行できた。夏季の除草作業については悪天候のため、やや遅延気味ではあったものの事故等なく終えることができた。新たに就労継続支援 B 型事業における新利用者を 1 名迎えたが収入アップにつながる取り組みはできておらず、今後も利用者増員を進めていくうえで新規作業の獲得、作業環境の整備は必要と考える。

個別支援計画に基づいた支援を行う中で、利用者とは個別面談の機会を定期的に設けご本人の現状把握、ニーズの確認等を行いより細かな支援を提供できるよう努めた。

1 名の利用者からの一人暮らしがしたいという声を聞くことができ、2 月には実際に事業所を出て一般就労している当事者の講演会に参加してもらった。外部の就労支援事業所の協力を得て、新年度には就労継続支援 A 型事業所の面接、実習を行う事となっている。

年度末に新年度に向けて「作業について」をテーマに話し合いを行った。自分の作業に対するの思いや作業方法の改善点を出し合い、今後効率化に向けて取り組んでいくことを確認した。

今後の小規模事業所の合築に向けて、合築後もスムーズに業務を行えるよう準備を進めていくとともに、利用者の高齢化対策、収入アップへの取り組み、より良い作業環境の整備についても継続して行っていきたい。

<計画に即した評価>

1. 基本方針

- (1) 指定障害福祉サービス「生活介護」「就労継続支援 B 型」の運営を行う。
- (2) 法令を遵守し、利用者、家族、地域から信頼を得る施設運営を行う。
- (3) 利用者の人権が尊重され、自己実現に向けて主体的に過ごすことができるよう支援を行う。
- (4) 「ともに働く」なかでも個別化したニーズの掘り起こしとそのニーズに応える支援を行う。

利用者一人ひとりのニーズに基づき支援計画を作成し支援を行った。個別での面談の場を定期的に設けニーズの確認・調整や健康状態の把握等を行い日々の支援を速やかに活かせるよう努めた。作業において車両移動の際には安全運転に努め、清掃業務を行ううえで地域の方に気持ちよく使って頂ける公園管理を心掛けた。また草刈り機等の機器を使用する際には利用者や地域の方の安全を重視し支援にあたった。

2. 事業内容

(1) 日中活動

- ・安全かつ円滑に作業が遂行できるよう、日中プログラムを計画的に実施する。

業務委託作業について契約内容通り履行できたが、夏季の除草作業において、昨年度に引き続き、主力利用者の不在や悪天候の影響等で遅延気味になってしまった。

- ・作業内容については、利用者一人ひとりの状況等に考慮して設定する。

利用者のその日の体調に合わせて、作業設定や内容の配慮を行った。特に夏場は作業中に体調の変化があり午後から休んでもらうというケースがあった。

- ・収入アップに向けて、新たな作業開拓の可能性を探る。

行政からの新規作業は無かったが、法人内のごみの運搬を今年度より処理までを含め請け負うこととなり新たな収益となった。また地域の方から単発での作業依頼(草刈り)が1件あり対応した。

- ・利用者同士で話し合う機会等を積極的に作っていき、主体性を伸ばしていけるよう支援を行う。

年度末に全員での話し合いの機会を数回設け、本人の作業に対する思いや、現在の作業方法の改善点を出し合う等、作業意欲の向上や効率化への取り組みを行った。

- ・行事や休日レクリエーションについては、利用者とともに計画し実施する。

行事やレクリエーションの企画については、日中活動の時間内において話し合いの機会をもち決定した。旅行については今年度より2グループに分かれ、それぞれ別の日に設定し実施した。旅行期間中の作業はもう一方のグループが行った。初めての試みであったが好評であったため来年度以降も分かれて実施していく。

(2) 支援の質の向上

- ・利用者のニーズに基づいた個別支援計画を作成し、中間評価を行いながら支援する。

利用者からの聞き取りに基づき個別支援計画を作成し、会議の場で検討を行い職員間で共有した。また中間時期には評価を行った。

- ・日常的に職員間で支援内容を振り返り、人権が守られた支援を行う。
- ・定期的に利用者へのモニタリングを行い支援の充実を図る。
- ・ケース記録の充実を図る。
- ・会議等で日々の利用者の情報を職員間で共有し支援方法を検討する。必要に応じ専門機関との連携を行う。

利用者と定期的に個別面談の機会をもち本人の現状を把握するとともに、速やかに支援内容に反映するよう努めた。日々の反省会で支援内容の振り返りを行い必要

な部分では他事業所と連携しながら支援を行った。ケース記録への記入については特記事項については記録するよう努めた。

- ・研修会への参加や勉強会の実施など職員の資質向上に努める。

法人内研修の他、「障害者差別解消法」についての勉強会を開催した。しかし外部研修への積極的な参加はできなかった。

(3) 事業所機能の充実

- ・安心・安全な環境の確保に努め、職員の安全管理に関する意識を高めるとともに、施設内外の安全について常時点検や改善を行っていく。
- ・快適で機能的な作業環境となるよう、施設整備や雰囲気作りに努める。

- ・日々の作業において安全には留意し作業を行ったが、作業中の事故（トラック積み荷部分の破損）が1件あった。再度安全第一の徹底を確認した。
- ・機器のメンテナンス、補修、修理依頼など、作業に支障がないよう適宜実施した。

- ・将来の利用者像を見据え、今後の事業所のあり方を検討する。

今後の事業所のあり方について検討の機会は十分にもてななかったが、小規模事業所の合築に向けて議論を重ねていく中で並行して事業所の方向性、本人支援の在り方について検討していく必要性を職員間で確認した。

- ・避難訓練を計画実施する。

京都市防災センターの見学を事前に行い自然災害を疑似体験することで避難訓練の際に危険をより実感してもらうことができた。年間を通じてバランスよく実施することができなかった。(2/26、2/29に実施)

- ・法人内各事業所と連携した施設運営を行なう。

日々法人内各事業所と連携し、特別な事項がある場合には報告・連絡・相談を行い施設運営を行った。

<資料>

1. 利用者の状況（定員 生活介護 10名 就労継続支援 B型 10名）

(1)利用者数 生活介護 8名(男性8名) ※平均障害程度区分：3.8

就労継続支援 B型 2名(男性2名)

(2)平均年齢 48歳

2. 活動内容

(1)作業

- ・精華町(建設課) 山田川駅前交通広場等維持管理業務委託

場 所	内 容
山田川駅前交通広場	ごみ袋入替 ごみ処理 除草 散水 等

祝園駅西側公衆便所	トイレ清掃
鳥谷公園	トイレ清掃 ごみ拾い 散水 等
池谷公園	トイレ清掃 ごみ拾い 散水 等
精華町の前公園遺跡の杜	トイレ清掃 ごみ拾い 散水 等

町(建・精華町(建設課) 池谷公園他除草業務委託

場 所	内 容
鳥谷公園	除草 塵埃収集 処分 等
池谷公園	除草 塵埃収集 処分 等

・精華町（体育協会）維持管理業務

場 所	内 容
打越台グラウンド	トイレ清掃 ごみ拾い グラウンド管理棟清掃 グラウンドベンチ清掃 等

・木津川市（教育委員会）社会体育施設清掃等委託業務

場 所	内 容
兜谷グラウンド周辺	トイレ清掃 ごみ拾い 除草 剪定 整地 等
木津グラウンド周辺	トイレ清掃 ごみ拾い 除草 整地 等
木津川台グラウンド	ごみ拾い 除草 剪定 整地 等
梅美台テニスコート	トイレ清掃 ごみ拾い 除草 等
赤田川グラウンド	トイレ清掃 ごみ拾い 除草 剪定 整地 等
加茂体育館	トイレ清掃 除草 等
加茂グラウンド	トイレ清掃 ごみ拾い 等
山城コミュニティ運動広場	トイレ清掃 ごみ拾い 等
木津川市中央体育館	除草
城址公園	(社会体育係業務委託) トイレ清掃 ごみ拾い 等
	(文化財保護室業務委託) トイレ清掃 ごみ拾い 等

- ・ 相楽福祉会 ゴミ回収 除草 等
- ・ 精華町障害児者育成会 古紙回収
- ・ リサイクル業務(空き缶回収)
- ・ 地域の方から畑除草依頼 (11/12)
- ・ ふれあいまつり(5/31) (利用者1名 職員1名)

(2)レクリエーション

日 程	内 容	参加利用者数 ※()内はスタッフ数	備 考
4/7(火)	花見	10名(3名)	兜谷公園
5/23(土)	バーベキュー	9名(2名)	相楽作業所内
6/27(土)	ボウリングとカラオケ	7名(2名)	新田辺駅
7/25(土)	京都府立植物園	8名(3名)	
9/7(月)	木下大サーカス	9名(3名)	
10/25(日)	サッカー観戦	8名(2名)	西京極競技場
11/28(土)	嵯峨嵐山紅葉狩り	8名(2名)	
12/5(土)	とっておきの芸術祭	8名(2名)	
1/15(金)	新年会	9名(3名)	
2/20(土)	コカ・コーラ工場見学	8名(3名)	
3/12(土)	北野天満宮梅苑	8名(3名)	

(3)行事・利用者研修等

日 程	内 容	参加利用者数 ※()内はス タッフ数	備 考
5/15(金)	講演会「その人らしく生きていくために」	5名(2名)	精華町役場
10/7(木)～ 10(土)	鳥取旅行	5名(2名)	
11/4(水)～ 7(金)	和歌山旅行	3名(2名)	
12/28(月)	作業所餅つき手伝い	4名(2名)	浄瑠璃寺
1/14(木)	感染症研修	9名(3名)	相楽作業所にて
1/21(木)	障がい者が働く場の見学会	3名(1名)	ダイキンサンライズ摂津
2/3(水)	障害者の働くつどい	1名	こども未来館
2/26(金)	京都市防災センター見学	8名(3名)	
3/16(水)	奈良市就労継続支援 A 型見学	1名	

3. 職員研修・出張

日 程	内 容	会 場	参加 者数

4/25(土)	法人内研修「他法人の実践に学ぶ」	かしのき苑	3名
7/17(金) 28(火)	強度行動障害支援者養成研修	京都テルサ	1名
7/24(金)	法人内研修「身体障害者の介助」	相楽デイセンター	2名
8/31(月)	就労継続支援 B 型事業所関係者会議	山城南保健所	1名
12/11(金)	法人内研修「自閉症」	相楽作業所	2名
12/18(金)	山城南圏域自立支援協議会就労支援部会	山城南保健所	1名
1/13(水)	「障害者差別解消法」についての勉強会	エコ・クリーン相楽	3名

4. 所内事故・苦情

内 容		件数
事故等	車輻事故	0
	服薬ミス	0
	怪我	0
	器物破損	1

5. その他

日 程	内 容	備 考
6/1(月)	精華町特定健診	利用者 4 名
9/3(木) 4(金)	利用者・職員健診	利用者 5 名 職員 2 名
10/29(木)	インフルエンザ予防接種	利用者 5 名 職員 3 名
1/29(金)	相楽職員交流会	職員 3 名
2/29(月)	避難訓練	全員

サービスセンター相楽
平成27年度事業報告（案）

当年度は長期にわたる短期入所の利用はなかったが、緊急・逼迫性が高いニーズを優先し、短期入所、日中一時支援を提供した。その他のニーズに対しては、行動援護、移動支援のサービス提供も含めて他事業所職員の協力を得つつ可能な限り対応したが、スタッフ調整ができずに断らざるを得ないケースもあり、それに伴う苦情も1件あった。他法人のサービス紹介も含めてニーズに合った支援ができるよう調整が必要である。通院等介助は毎月平均して100件程度利用があり、同じ日に利用が集中しないよう可能な限り調整した。

安全対策等について、短期入所利用中の事故により、プラスチック製食器への入れ替えを行った。また、補助金を活用して老朽化していた冷蔵庫、電子レンジを買い替えた。今後は事故を未然に防ぐためにも、危険個所への迅速な対応と老朽化した設備に対して計画的に修繕を行っていく必要がある。

当年度も人権に配慮した支援ができているか、支援の内容が成人に合ったものかを意識的に振り返りを行った。支援の質の向上や人権意識を高めると共に、互いに指摘し合える環境作りを継続して行う。

<計画に即した評価>

1. 各種サービス

- ・個々の利用者にあったサービス内容を検討、見直しをしていく。
- ・スタッフ確保に努め少しでも多くのニーズに対応できるよう努力する。

サービス内容については、必要に応じて通所施設職員や家族と相談しながら検討、見直しを行った。

当年度も相楽作業所、相楽デイセンターの各施設長を交えてサービス調整会議を毎月実施し、緊急性が高いケースの情報共有や効率的な人員配置の調整を行った。また、年度途中で常勤職員が退職しスタッフ体制に他事業所からの応援を要した。夜間・休日のサービスニーズに対応していくために、アルバイトスタッフの募集を継続する必要がある。

2. 支援の質の向上

- ・スタッフ間の情報の共有を確実にし、個々の利用者に応じた支援を行う。

他事業所と連携して情報を共有し、業務日誌等を用い服薬、安全の確保ができるよう配置スタッフへの引継ぎを行った。

- ・法人内部および外部研修に参加し、支援の向上に努める。

職員体制上の困難さから研修参加機会が少なかったが、今後は研修参加を計画的に行い、報告や話し合う場を設けることで支援の質を上げることが重要である。

・支援内容の質的向上を目指す。

日々の支援の中で気付いたことはその都度話し合い、支援内容の改善と共通理解を深めることができた。

3. 事業所機能の充実

・関係機関、他事業所との連絡を密に行い情報の共有と連携をはかる。

必要に応じて関係機関、他事業所との連携をはかることができた。

・年2回の防災訓練を計画的に実施する。

・感染症予防に努める。

防災訓練は、1回目は年度初めに相楽デイセンターと合同で実施したが、2回目は年度末間際の実施になってしまった。感染症については、消毒等を徹底して行うことで蔓延を防ぐことができた。

<資料>

1 利用者の状況（登録利用者数）

◎相楽福祉会通所利用者 105名

◎上記以外 9名

2 事業内容

① 居宅介護（身体介護・家事援助・通院等介助）

② 行動援護

③ 短期入所

④ 日中一時支援

⑤ 移動支援

⑥ 福祉有償運送

《参考》 平成28年2月サービス提供の状況

サービス内容	件数
居宅介護（身体介護・家事援助）	53
居宅介護（通院等介助）	112
短期入所	62
行動援護	40
移動支援	44
日中一時支援	173
福祉有償運送（移送サービス）	230

※短期入所…1泊2日を2件とカウント

※行動援護…内34件はグループホーム利用者

※移動支援…内29件はグループホーム利用者

3 研修・出張

日程	研修名・内容	会場	参加
7/17 21	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	京都テルサ	1名
9/18	南山城支援学校 移送会議	南山城支援学校	1名
10/5 6 7	強度行動障害支援者養成研修(実践)	京都テルサ	1名

4 事故・苦情

内 容		件 数
事故	服薬ミス	0
	怪我	1
	車両事故	0
	感染症	0
苦情	サービス利用について	2

昨年度と比較して、事故については、服薬ミスはなかったが、怪我が1件あり、苦情については2件あった。

怪我は、短期入所利用時、食器洗浄中に欠けたお皿の縁で指に切り傷を負われた。苦情は、スタッフ調整困難のため移動支援の利用をお断りしたことに対するものと、短期入所の利用申込みされた内容と受付けた内容の行き違いによるものであった。

5 その他

日程	内容	備考
6/4(木)	消防設備点検	ベルテック
7/23(木)	消防立入検査	相楽中部消防組合
7/29(水)	防災訓練	相楽デイセンターと合同
9/3(木)	火災受信盤調整	ベルテック
9/13(日)	ワックスがけ	フジハラ美装
11/10(火)	消防設備点検	ベルテック
3/17(木)	障害福祉サービス事業者等実地指導	京都府山城南保健所
3/31(木)	防災訓練	

社会福祉法人相楽福祉会

平成 27 年度グループホームサポートセンター「樹葉」事業報告（案）

365 日稼働しているグループホーム運営では、マンパワーの確保が重要な課題。特に夜間宿泊、休日日中支援のスタッフが不足しており、法人内他事業所の職員に依存している状況が続き労働過重の状況を作り出している。また、グループホーム担当職員の労働過重も課題である。求人は随時行っているが昨今の社会情勢もあり応募が無い状況であったため、夜間手当を増額した。アルバイトスタッフの入職で、女性の夜間支援体制が若干改善できた。当年度末で退職したアルバイトもあり、引き続きマンパワーの確保に取り組む必要がある。

生活支援においては、前年度から物件確保に苦慮していたサテライト制度を活用したワンルーム形態の住居開設を行うことができた。

安心、安全の確保において、年々減少している服薬支援事故は 4 件で前年度比半減した。そして当年度顕著であったのは、入居者の加齢に伴う身体機能等低下による転倒、新たに介助を要する場面が増加したことがある。介護保険デイサービス利用での機能訓練により改善した部分もあるが、この状況は現在も続いており現高齢入居者に対する支援やサービス調整が、今後のモデルになると考える。

<計画に即した評価>

1. 生活支援

- ・一人ひとりのニーズに沿った支援計画に基づいて支援し、必要に応じ見直しを行う。
- ・生活習慣病や慢性疾患、メンタルケア等に留意し健康的な生活が送れるよう支援する。
- ・入居者の希望をとりいれて健康や盛り付けに配慮した食事を提供する。

個別支援計画に基づいて支援を行なった。健診結果や定期受診の結果から精密検査を調整するなど必要な支援を行なった。入居者の処方内容をリアルタイムで一元的に把握し、服薬事故時に迅速に対応した。また、休日夜間の体調異変時に最新の通院結果が手元に無い状況があり、他事業所と連携して情報共有方法を改善した。介護保険対象入居者では、訪問リハビリや訪問看護による機能訓練も活用した。なお、インフルエンザ、ノロウイルスに感染した入居者はいなかった。

食事は、栄養士の献立に沿って調理提供した。休日は食材配達業者を利用し、食材購入の省力化と食事の質の担保の両立をはかった。

- ・入居者の希望や趣味などを考慮し、余暇支援の充実をはかる。
- ・充実した生活のために、他法人事業所のサービスも活用もすすめる。

各住居単位でレクリエーションを実施したほか、個人単位のガイドヘルプサービスを利用して休日支援を行なった。

他法人事業所のガイドヘルプサービスも活用できるよう調整を行なったが、ガイドヘルプサービスを提供する事業所が少なく人員確保にも苦慮しているため、サービスニーズは高いものの新たな利用には繋げにくいことが多くあった。介護保険対象入居者の中では、土曜日に介護保険デイサービスを利用した人もいた。

- ・暮らしやすく住み心地の良い場になるよう、建物設備等の環境を整える。
- ・近隣とのつながりを深め、地域の一員として生活を営めるよう支援する。

前年度から物件確保に苦慮していたサテライト制度を活用したワンルーム形態の住居開設を行うことができた。6月から運営開始し、入居者間摩擦の低減、自己決定が即時反映される生活環境が作れたと考えたが、生活リズムの崩れも見られ、新たな支援課題が出てきている。ほうその相朋舎、はぜ相朋舎、きたのどう相朋舎では自治会活動に参加している。

2. 安心、安全の確保

- ・危険物、薬品、貴重品等を厳重に管理し、間違いが起こらない環境整備に努める。
- ・支援方法や構造等における危険個所を随時確認し改善する。
- ・年2回の避難訓練等を行い火事や災害時の危機対応に備える。
- ・スプリンクラー未設置住居について、検討をすすめる。

服薬支援事故は4件で前年度比半減したが、ヒヤリハットが7件あり更なる改善を要する。5月に夜間複数スタッフ体制のかみこま相朋舎に設置した携帯電話で他住居からの服薬確認連絡を受けることとし、服薬忘れを防止した。

当年度顕著であったのは入居者の加齢に伴う身体機能等低下による転倒、新たに介助を要する場面が増加したことである。

刃物等危険物の取扱いや保管については、再度確認し住居ごとにチェックする体制をとった。

自動火災報知器と火災通報装置の連動工事を2住居実施し未工事は1住居となった。スプリンクラー設備は平成30年度設置に向けて、平成29年度に国庫補助協議を進める予定。避難訓練は年2回実施した。

3. 支援の質の向上

- ・世話人、生活支援員、夜間支援員、他事業所それぞれの連携を密にし、職種に関わらず支援に携わる者がお互いの支援の在り方について指摘し意見を交わすことによって入居者を尊重したよりよい支援を行う。
- ・研修会等への参加により、職員の人権意識、資質向上をはかる。
- ・個人支援方針・方向性を他事業所サービスと調整する。また、介助手順・マニュアルや生活歴既往歴等のデータを充実させ、良質で均質な支援を継続する。

事業所、住居ごとの会議を開催し生活支援員・世話人各々の視点で入居者支援についての気づきや改善内容を共有した。ノーマライゼーションやバイスティックの原則、障害特性の再確認をし適切な支援や人権意識向上に努めた。一方、生活歴既往歴等のデータを充実させるフェイスシート様式を作成したが、入居者データを入力するには至らなかった。まだ未完成なマニュアルも多く、次年度へ課題を残した。

・夜勤や変形労働時間を活用し効率的な人員配置に努めるとともに、夜間休日の人員確保をすすめ、労働過重を改善する。

夜間支援員の募集を行いアルバイトが4名入職し、女性の夜間支援体制が若干改善できた。(女性宿泊配置、他事業所依存率 H27 年4～6月 46.4%、H28 年1～3月 34.5%) ただ、女性常勤職員が年々減少していることから、常勤一人あたりの宿泊回数は前年度と同程度。宿泊スタッフのほか朝夕の繁忙時にはフォロー体制を敷いており、非常勤職員や変形労働時間を活用したものの他事業所への依存度も高い。前述の携帯電話設置により、各住居担当が勤務外時間の夜間服薬連絡を受ける負担やサービスセンター相楽の24時間対応電話の負担が軽減できた。

4. その他

・生活費を精査し、適切な名目に按分した生活費額に見直す。
 ・住居拠点毎に主管職員を定め業務分担を明確にするとともに、管理者・サービス管理責任者や他事業所との情報共有、連携を組織的に行う。

住居間で生活費の徴収名目や金額が異なっている状況があり、前年度の支出実績に基づいて生活費を精査し、住居間で異なる取扱いがされていた部分を是正した。また、この機会に合わせて重要事項説明書、契約書の更新も進めた。

住居間、事業所間の定例会議での情報共有、必要に応じて通所事業所等との個別ケース検討を開催した。

<資料>

1. 利用者・住居の状況 (平成28年3月31日現在)

	かみこま 相朋舎	ほうその 相朋舎	はぜ 相朋舎	きたのどう 相朋舎
所在地	木津川市	精華町	木津川市	精華町
開設年	2005年	2014年	2013年	1999年
入居者数	男3、女3	男8	女9	女2
平均年齢	51.2歳	51.5歳	51.7歳	32.0歳
障害支援区分 (平均)	5.7	5.1	5.0	5.5
夜間支援体制	男2、女1	男2	女1	女1

※きたのどう相朋舎のうち、1名はサテライト住居（2015年開設）
当年度は障害支援区分再認定で8名の区分上昇により、全住居の平均区分が5を超え支援度が高い傾向がより鮮明になった。要介護認定を受けている入居者は4名。入院療養中だった60代男性入居者が逝去された。

2. レクリエーション

かみこま相朋舎 : バーベキュー&木津川花火大会観賞 (7/25 土)
ほうその相朋舎 : 焼肉&カラオケ (2/28 日) 合同開催
はげ相朋舎 : 焼肉&カラオケ (2/28 日) 合同開催
きたのどう相朋舎 : 焼肉パーティー (3/ 5 土)

3. 研修

法人内研修および外部研修に参加した。法人内研修は業務上参加できない傾向が従来からあるが可能な限り参加した。グループホーム全職員を対象とした感染症研修を実施し、ノロウイルス等への対応や掃除方法の統一などを図った。外部研修は前年度に比べ派遣を増加でき、日本グループホーム学会全国大会（京都）7名（うち実行委員1名）、相談支援従事者初任者研修1名、サービス管理責任者研修1名、強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）3名、介護福祉士資格取得3名。重度加算、福祉専門職員加算等の収入に繋がる見込み。次年度は外部研修に加え、他法人グループホームの視察を行い非常勤職員が学ぶ機会も設定し、資質向上をはかりたい。

4. 事故・苦情

服薬ミスは昨年・一昨年と年々減少し、昨年5件あった服薬忘れは1件だったが、ヒヤリハットも7件あり更なる改善を要する。転倒7件のうち5件が65歳以上の入居者であり、うち4件は居室や廊下など通常的生活行動での転倒であった。入居者間トラブルはパニック暴力2件、生活音トラブル1件。入居者家族からの苦情は本人管理の所有物紛失、外部からの苦情は近隣より無断立ち入り1件、大声騒音等について2件、コンビニでの大声迷惑1件。対外トラブルはコンビニでの万引き2件とタクシー無賃乗車1件、いずれも同一入居者。随時対応したが、大声騒音については引き続き環境整備を進める必要がある。

服薬ミス	4件
転倒	7件
入居者間トラブル	3件
車両事故（物損）	1件
対外トラブル	3件
苦情（入居者家族より）	1件
苦情（外部より）	4件

